

基本政策 9

人々のつながりが広がる 文化の香りと平和に包まれたまち

施策 9－1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上

施策の目標

- 町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与する触れ合いと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。
- 町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。

施策 9－2 豊かな心を育む文化活動の振興

施策の目標

- 区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。
- 区内の文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、貴重な歴史・文化遺産の継承を図ります。また、文化財に関する多様な情報提供と魅力の発信を通して、歴史・文化遺産の保護と活用に関する意識の向上を図ります。

施策 9－3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり

施策の目標

- 友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。
- 区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。

目 次

基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	頁
【125】	自治振興事務（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・	300
【126】	コミュニティ活動支援事業（地域振興課）・・・・・・・・	302
【127】	地域イベントの開催等事業・・・・・・・・・・・・・・・・	304
【128】	社会貢献活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	306
【129】	公衆浴場対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・	308
【130】	公設浴場管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	310
【131】	区民館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	312
【132】	中央会館「銀座ブロッサム」管理事業・・・・・・・・	314
【133】	セレモニーホール管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	316
【134】	浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業・・・・・・・・	318
【135】	地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）・・	320
【136】	晴海地域交流センター「はるみらい」管理事業・・	322
【137】	日本橋特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	324
【138】	自治振興事務（日本橋特別出張所）・・・・・・・・	326
【139】	コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）・・	328
【140】	地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）	330
【141】	日本橋公会堂管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	332
【142】	月島特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	334
【143】	自治振興事務（月島特別出張所）・・・・・・・・	336
【144】	コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）・・	338
【145】	地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）	340
【146】	晴海特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	342
【147】	コミュニティ活動支援事業（晴海特別出張所）（新規）	344
9-2	豊かな心を育む文化活動の振興	
【148】	地域文化活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	346
【149】	郷土資料館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	348
【150】	文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	350
9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	
【151】	地域間交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	352
【152】	平和推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	354
【153】	国際交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	356
【154】	「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業・・	358

1 事業概要

事業名		【125】自治振興事務(地域振興課)		部課名		区民部地域振興課	
事業目的		・町会・自治会の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化、ならびに、区事業の普及推進を図る。					
事業内容		・区政への各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催する。 ・コミュニティ連絡相談員を配置して、町会・自治会と積極的にコミュニケーションを取る。 ・区が行う各種事務事業の周知や各種調査等を町会・自治会に委託する。					
関連する個別計画							
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		SDGsとの 関連		
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上				

2 財務情報

(単位:円)

勘定科目				令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目				令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
① 行政コスト計算書	行政費用	人件費		22,766,961	18,036,497	△4,730,464	行政収入	地方区税		0	0	0	
		物件費		44,267,340	39,709,236	△4,558,104		特別区財政調整交付金		0	0	0	
		維持補修費	0	173,030	173,030	国庫支出金			0	0	0		
		扶助費	0	0	0	都支出金			0	0	0		
		補助費等	0	0	0	分担金及び負担金			0	0	0		
		投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料			0	0	0		
		減価償却費	2,777,343	2,777,343	0	その他		275,089	291,156	16,067			
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	275,089	291,156	16,067				
		賞与・退職給与引当金繰入額	3,086,247	2,560,714	△525,533	行政収支差額	△72,622,802	△62,965,664	9,657,138				
		その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0				
小計	72,897,891	63,256,820	△9,641,071	通常収支差額	△72,622,802	△62,965,664	9,657,138						
特別費用	0	0	0	当期収支差額	△72,622,802	△62,965,664	9,657,138						
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	68,789,921	60,465,497	△8,324,424						
特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△3,832,881	△2,500,167	1,332,714						
勘定科目	物件費					勘定科目	維持補修費						
決算額の主な内訳	・コミュニティ推進事務委託 35,389,300円					決算額の主な内訳	・京橋プラザ分庁舎内倉庫煙感知器交換工事 173,030円						
主な増減理由	・事務委託作業量の減による推進事務委託料減 △3,194,400円					主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎内倉庫煙感知器交換工事費の皆増 173,030円						
勘定科目	その他(行政収入)					勘定科目							
決算額の主な内訳	・光熱水費(町会倉庫負担分) 291,156円					決算額の主な内訳	—						
主な増減理由	・町会倉庫電気等使用実績増による光熱水費増 16,067円					主な増減理由	—						

(単位:円)

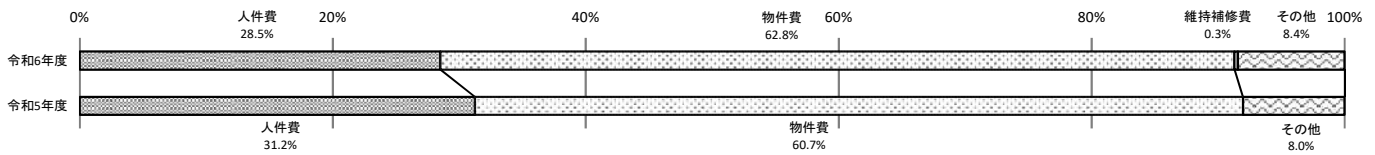
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	1,709,318	1,382,181	△327,137	
	固定資産	土地	1,770,683	1,770,683	0		その他	0	0	0
		建物	77,717,182	74,939,839	△2,777,343	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	0	0	0		退職給与引当金	16,505,669	11,934,769	△4,570,900
		重要物品	1	1	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	18,214,987	13,316,950	△4,898,037
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	61,272,879	63,393,573	2,120,694
	その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	79,487,866	76,710,523	△2,777,343	
資産の部 合計		79,487,866	76,710,523	△2,777,343						
勘定科目	建物			土地			重要物品			
決算額の主な内訳	・地域集会室ほか 32,648,640円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 26,022,985円 ・佃三丁目地域集会室 16,268,214円			・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円			・軽自動車 1円			
主な増減理由	・地域集会室ほか減価償却による減 △1,335,074円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫減価償却による減 △827,320円 ・佃三丁目地域集会室減価償却による減 △614,949円			・増減なし			・増減なし			

3 実施内容

①	自治振興事務	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

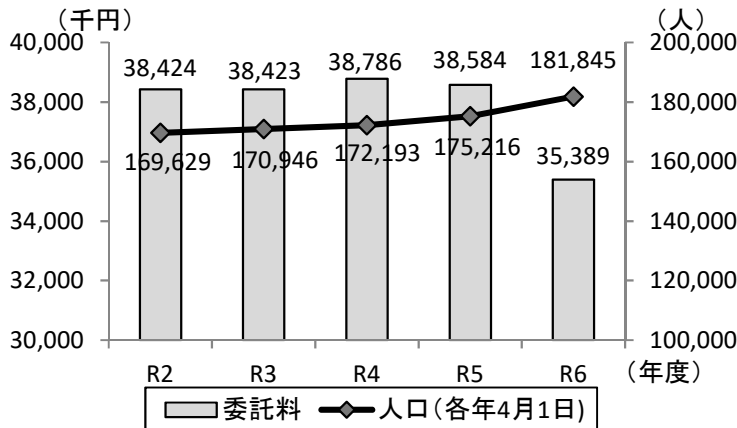
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

コミュニティ推進事務委託 実績



行政懇談会出席実績(京橋地域)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数(団体)	63	63	63	63	63
出席団体数(団体)	※	※	42	41	40
出席率(%)	※	※	66.7%	65.1%	63.5%

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

※コミュニティ推進事務委託
区が行う各種事務事業の周知等、
区の事務事業の一部を町会・自治会に委託する。

5 総括

① 令和6年度 の取組状況	現状・成果	・町会・自治会を通して区事業の周知等を行うことにより、各事業の着実な普及および地域コミュニティの活性化に寄与している。 ・京橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。 ・令和6年10月からコミュニティ推進事務委託における委託内容の変更に伴い、単価の見直しを行った。
	課題	・人口増加や、今後予定される再開発に伴う地域コミュニティの変化に対応し、地域コミュニティのさらなる活性化に向けた取組を進める必要がある。

② 今後の方向性	・コミュニティ推進事務委託による町会・自治会を通じた区事業の普及発展を図ることで、地域コミュニティを活性化していく。 ・行政懇談会の開催等さまざまな機会を捉えて、町会・自治会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。 ・町会・自治会の活動に対する支援を継続して行うとともに、コミュニティ連絡相談員等を通じて、良好なコミュニティの醸成や、地域活動の活性化を図ることで、都心コミュニティの活性化に努める。
-------------	--

1 事業概要

事業名	【126】コミュニティ活動支援事業(地域振興課)			部課名	区民部地域振興課	
事業目的	・各種イベントの開催を促進するなど、町会・自治会の活動に対する支援を通じて、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティの活性化を図る。					
事業内容	・町会・自治会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。 ・町会・自治会への加入促進活動の支援や地域人材の育成および支援を行う。 ・SNS等の活用を支援し、地域活動の活発な情報発信を推進する。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連		
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用	人件費 15,177,973 物件費 3,693,462 維持補修費 0 扶助費 0 補助費等 36,097,000 投資的経費 0 減価償却費 0 不納欠損・貸倒引当金繰入額 0 賞与・退職給与引当金繰入額 2,057,498 その他 0 小計 57,025,933	16,468,105 4,132,970 0 0 26,325,000 0 0 0 2,338,042 0 49,264,117	1,290,132 439,508 0 0 △9,772,000 0 0 0 280,544 0 △7,761,816	行政収入	地方区税 0 特別区財政調整交付金 0 国庫支出金 0 都支出金 0 分担金及び負担金 0 使用料及び手数料 0 その他 5,000,000 小計 5,000,000	0 0 0 0 0 0 2,500,000 2,500,000	0 0 0 0 0 0 △2,500,000 △2,500,000
(内訳等)	特別費用				行政収支差額			
	特別費用 0				△52,025,933			
	特別収入 0				金融収支差額 0			
	特別収支差額 0				通常収支差額 △52,025,933			
					当期収支差額 △52,025,933			
					一般財源充当調整 51,322,242			
					再計(一般財源調整後) △703,691			
					253,074			
					956,765			
(内訳等)	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 10,748,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 7,000,000円 ・コミュニティ施設賃借料助成 5,952,000円			決算額の主な内訳	・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託 1,924,560円 ・「地域のつながりコミュニティ」担い手養成プログラムの委託 881,400円 ・地域コミュニティPTA(ビタ)っと! 事業「ランPAT2.0」の委託 699,900円		
	主な増減理由	・コミュニティ施設改築に係る整備事業助成減 △10,663,000円 ・地域手づくりイベント推進助成の増 2,625,000円 ・コミュニティ助成事業助成金の交付減 △2,500,000円			主な増減理由	・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」印刷費増 303,600円 ・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託費増 296,560円 ・町会・自治会マップ作成委託費の減 △179,300円		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・コミュニティ助成事業費収入 2,500,000円			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	・コミュニティ助成事業費収入の減 △2,500,000円			主な増減理由	—		

(単位:円)

② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済 0 不納欠損引当金 0 その他 0	0 0 0	0 0 0	流動負債	還付未済金 0 特別区債 0 賞与引当金 1,139,545 その他 0	0 0 1,261,991 0	0 0 122,446 0
(内訳等)	固定資産	土地 0 建物 0 工作物 0 重要物品 0 インフラ資産 0 建設仮勘定 0 その他 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	固定負債	特別区債 0 退職給与引当金 11,003,779 その他 0	0 10,896,963 0	0 △106,816 0
	資産の部 合計 0				負債の部 合計 12,143,324			
					正味財産の部 合計 △12,143,324			
					△12,158,954			
					△15,630			
					負債・正味財産の部 合計 0			
(内訳等)	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	コミュニティ施設(町会・自治会館等)の整備費等助成	②	町会・自治会活動支援	③	地域手づくりイベント推進助成	④	地域の盆おどりに対する助成
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	R2	R3	R4	R5	R6
コミュニティ施設の整備費等助成(件)	28	32	31	29	0
地域手づくりイベント推進助成対象団体数(団体)	63	63	63	71	71
地域手づくりイベント推進助成助成団体数(団体)	4	4	17	36	38
地域手づくりイベント推進助成件数(件)	4	5	21	47	60
(内地域連携加算件数(件))	—	—	—	(2)	(8)
地域盆おどり大会助成件数(件)	0	0	22	28	33
地域コミュニティ連携事業補助金(件)	—	11	20	—	—

○担い手養成プログラムの主な内容

- ・地域コミュニティ活性化講座(全1回)
- ・事前説明会(全1回)
- ・担い手養成塾(全5回)
- ・修了生フォローアップ講座(全4回)

○担い手養成塾修了生

年度	修了生人数
令和2年度	18人
令和3年度	17人
令和4年度	16人
令和5年度	12人
令和6年度	16人

※地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から助成対象団体に連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に、一律10万円を加算して助成する地域連携加算を追加した。

5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進するために、平成27年度から担い手養成塾の講座を開講している。これまでの修了生の総数は162人となり、修了生同士の交流から立ち上がったプロジェクト「みんなの食堂(勝どきデイルーム)」では、運営メンバーに新規修了生が加わるなど活発な活動がされており、引き続き地域活動の担い手を養成する。 ・町会・自治会への加入促進や地域活動への参加を促すため、町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」を年2回発行している。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、てびきの改定や相談時の声掛け等、継続して周知を図ることにより令和5年度を上回る数の申請があった。また地域連携加算においても、さらなる制度の周知に加え、相談時の声掛けの強化を図ったことにより、令和5年度より助成件数が増加した。
	課題	・デジタルを活用した町会・自治会運営の効率化や活性化等、社会情勢や町会・自治会の意向に沿った活動を支援していく必要がある。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、昨今の物価高騰により、開催費用の負担が増加している。

② 今後の方向性	・引き続き担い手養成塾を実施し、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や協働ステーション中央の相談事業によるフォローアップの実施により、修了生と多様な団体との連携を支援し地域活動の広がりを促進していく。 ・新規転入者をはじめとする町会・自治会未加入者に向けて加入促進や地域活動への参加を促すため、町会・自治会を紹介する「こんにちは町会です」の発行を継続する。 ・町会・自治会への調査等を通じて地域活動におけるデジタル技術の活用やニーズを把握するとともに、SNS等により独自に発信している情報と区ホームページの連携を一層強化していく。 ・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成するため、引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。 ・地域手づくりイベント推進助成、地域盆おどり大会助成において、令和7年度から町会・自治会に対する助成限度額を20%増額し負担軽減を図るとともに、これまで利用のなかった団体に対しても声掛けを強化することで、助成団体数および利用件数の増加へとつなげていく。 ・地域の絆を強め、交流の場となる手づくりイベント等の開催を積極的に支援するとともに、SNS等を活用して町会・自治会の情報発信力をさらに強化するなど、町会・自治会の活動に対する支援を行うことで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図っていく。
----------	---

1 事業概要

事業名	【127】地域イベントの開催等事業			部課名	区民部地域振興課	
事業目的	・各種地域事業を開催することで、多くの区民が触れ合い、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。					
事業内容	・町会・自治会をはじめとした区内各種団体の協力を得て開催している「大江戸まつり盆おどり大会」等を通じて、地域住民相互の交流や触れ合いを促進する。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連		
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	16,814,436	23,649,180	6,834,744	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	6,012,585	35,613,074	29,600,489	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	61,354,859	69,703,400	8,348,541	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	1,000,000	500,000	△500,000
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	1,000,000	500,000	△500,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,263,248	3,340,060	1,076,812	行政収支差額	△85,445,128	△131,805,714	△46,360,586
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	86,445,128	132,305,714	45,860,586	通常収支差額	△85,445,128	△131,805,714	△46,360,586
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△85,445,128	△131,805,714	△46,360,586
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	84,671,067	132,167,249	47,496,182
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△774,061	361,535	1,135,596
	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・「大江戸まつり盆おどり大会」開催に伴う補助金 62,099,000円 ・「隅田川花火大会」の共催に伴う補助金 5,317,800円 ・「大江戸まつり盆おどり大会」従事職員に係る報償費 2,286,600円			決算額の主な内訳	・「中央区雪まつり」会場設営・進行等業務委託料 10,560,000円 ・「中央区晴海まつり」実施委託料 7,290,000円 ・「区民還暦祝い事業」祝い品作製委託 6,255,700円		
	主な増減理由	・「大江戸まつり盆おどり大会」開催に伴う補助金増 7,154,000円 ・「隅田川花火大会」の共催に伴う補助金増 1,175,741円 ・「大江戸まつり盆おどり大会」従事職員に係る報償費増 18,800円			主な増減理由	・「中央区雪まつり」会場設営・進行等業務委託料の皆増 10,560,000円 ・「中央区晴海まつり」実施委託料の皆増 7,290,000円 ・「中央区雪まつり」雪運搬等委託料の皆増 3,714,700円		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
(内訳等)	決算額の主な内訳	・特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金 500,000円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金の減 △500,000円			主な増減理由	—		

(単位:円)

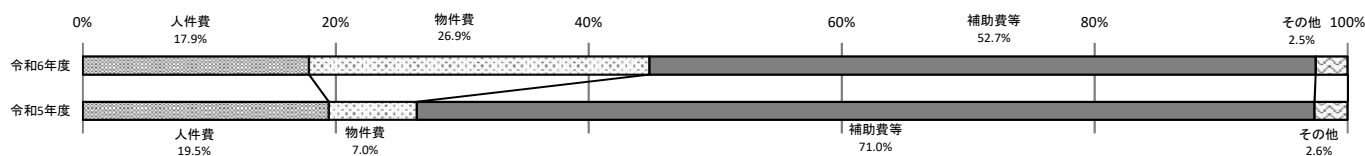
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
(内訳等)		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0
		その他	0	0		賞与引当金	1,253,500	1,802,844
	固定資産	土地	0	0		その他	0	0
		建物	0	0	固定負債	特別区債	0	0
		工作物	0	0		退職給与引当金	12,104,157	15,567,090
		重要物品	0	0		その他	0	0
		インフラ資産	0	0		負債の部合計	13,357,657	17,369,934
		建設仮勘定	0	0		正味財産の部合計	△13,357,657	△17,369,934
		その他	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0
	資産の部 合計		0	0				
(内訳等)	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	中央区大江戸まつり盆おどり大会	②	隅田川花火大会	③	区民還暦祝い事業	④	晴海まつり
⑤	雪まつり	⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

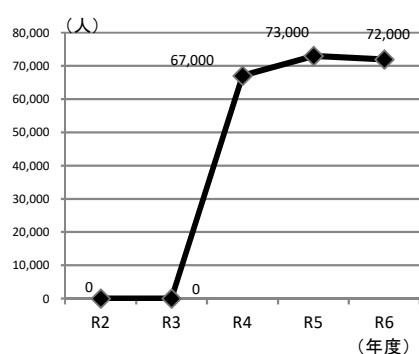
4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)

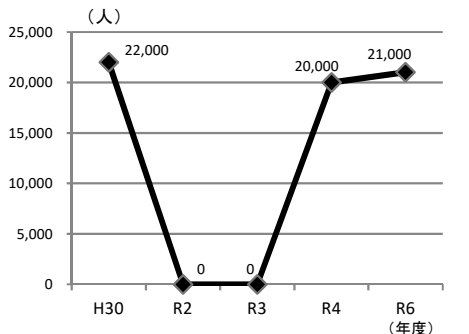


② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

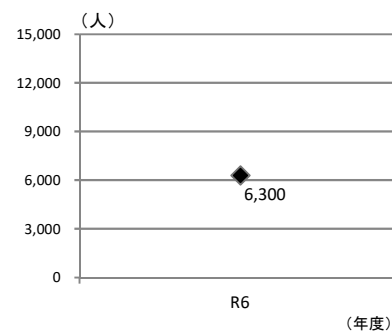
大江戸まつり盆おどり大会来場者数推移



雪まつり来場者数推移



晴海まつり来場者数推移



※R2・R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

※隔年実施
※R2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため翌年に延期したが、R3年度も同理由のため中止となった。

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・大江戸まつり盆おどり大会および雪まつりは、区内の町会等各団体の協力を得て開催するイベントとして地域の活性化や区民のふるさと意識の高揚に寄与している。 ・令和6年度の大江戸まつり盆おどり大会は、開催2日目夜に天候不順の懸念があったが、コロナ禍明けの通常開催となった令和5年度と同水準の来場者数であった。 ・還暦を迎える区民に対し、還暦祝い品と併せて協働ステーション中央の案内を送付することで、対象者の人生の節目を祝福するとともに、社会貢献活動や地域活動への参加のきっかけづくりとした。 ・第1回晴海まつりを、晴海地区の連合町会・自治会、青少年対策地区委員会等地域の多くの方の協力を得て実施し、月島地域のコミュニティ醸成に寄与することができた。
	課題	・大江戸まつり盆おどり大会および雪まつりは、会場の大きさに限りがあるため、多くの区民等が来場し、混雑した場合でも安全を確保する必要がある。 ・イベントの実施において、人口の増加等により、今後もさらに多くの来場者が見込まれるため、来場者が安全に安心して楽しめるイベントとして運営していく必要がある。 ・区民還暦祝い事業については、平均寿命の延伸や定年延長といった社会状況の変化により、還暦に対する認識が変化しているものの、本事業を通じて、より社会貢献活動や地域活動への参加を促していく必要がある。 ・今後も月島地域での人口増加が想定される中、さらなるコミュニティ醸成やふるさと意識の高揚を図っていく必要がある。

今後の方向性	・イベントの実施において、来場者の安全確保を図り、より安全な運営に努めることで、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。 ・区民還暦祝い事業については、対象者から回収したアンケート結果や働き方の変化等の社会の状況を踏まえながら、事業のあり方を引き続き検討していく。 ・町会・自治会をはじめとした区内各種団体の協力により開催している「大江戸まつり盆おどり大会」、「晴海まつり」、「雪まつり」等を通じて、地域住民同士の交流を促進することで、良好なコミュニティ醸成と地域活動の活性化を図っていく。 ・晴海まつりについては、地域の他団体との連携等を行い、会場の拡大と内容の充実を図りながら、継続して実施していく。 ・令和8年度に区制施行80周年記念事業として東京湾大華火祭を開催するため、実施計画策定等の準備を進めていく。
--------	---

1 事業概要

事業名		【128】社会貢献活動の推進事業		部課名	区民部地域振興課
事業目的		・区民や企業、社会貢献活動団体等さまざまな主体が連携・協力して地域課題を解決する都心型協働社会の実現に向け、区や団体間のネットワークの形成を促進し、「地域力」の向上を推進していく。			
事業内容		・「協働ステーション中央」を拠点として、各種団体の活動の場や交流の機会を提供するとともに、さまざまなコミュニティに関する情報を集約・発信する。 ・町会・自治会やNPO、ボランティア団体等の社会貢献活動団体の提案による協働事業を実施し、また、社会貢献活動補助金制度等を用いて、社会貢献活動団体の活動を支援する。			
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	6,071,189	7,057,759	986,570	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	19,706,827	20,425,240	718,413	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	577,390	0	△577,390	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	788,000	809,000	21,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	1,510	2,880	1,370
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	1,510	2,880	1,370
	賞与・退職給与引当金繰入額	823,000	1,002,018	179,018	行政収支差額	△27,964,896	△29,291,137	△1,326,241
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	27,966,406	29,294,017	1,327,611	通常収支差額	△27,964,896	△29,291,137	△1,326,241
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△27,964,896	△29,291,137	△1,326,241
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	27,683,419	29,399,598	1,716,179
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△281,477	108,461	389,938
(内訳等)	勘定科目	物件費			勘定科目	補助費		
	決算額の主な内訳	・協働ステーション中央管理運営等業務委託 14,600,741円 ・十思スクエア受付管理業務委託費等 1,368,170円 ・十思スクエア光熱水費 1,299,811円			決算額の主な内訳	・協働推進会議委員謝礼 423,000円 ・社会貢献活動事業補助金の交付 386,000円		
	主な増減理由	・十思スクエア受付管理業務委託費等の増 705,815円 ・協働ステーション中央備品購入費の皆減 △599,500円 ・協働提案事業「女性防災リーダー養成事業」実施委託費の皆増 576,202円			主な増減理由	・社会貢献活動事業補助金の交付増 24,000円 ・協働推進会議委員謝礼減 △3,000円		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・協働ステーション中央コピー機等利用に伴う受益者負担金 2,880円			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	・協働ステーション中央コピー機等利用に伴う受益者負担金増 1,370円			主な増減理由	—		

(単位:円)

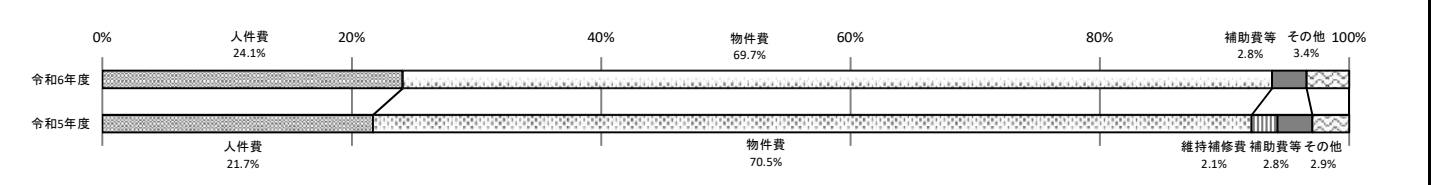
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
固定資産	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	455,818	540,853	85,035
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	1	1	0	固定負債	特別区債	0	0
	工作物	0	0	0	退職給与引当金	4,401,512	4,670,127	268,615
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	4,857,330	5,210,980	353,650
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△4,857,329	△5,210,979	△353,650
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1	1	0
	資産の部 合計	1	1	0				
(内訳等)	勘定科目	建物			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・協働ステーション中央(S3年竣工) 1円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・増減なし			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	社会貢献活動団体との協働の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

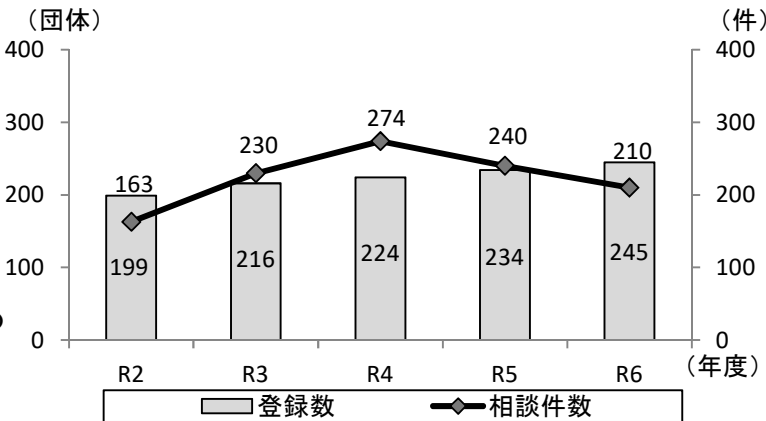
項目	令和5年度	令和6年度
協働提案事業通算採択数(件)	21	21
社会貢献活動補助金認定事業数(件)	0	1

<R5採択事業>

- ・女性防災リーダー養成事業
- ・減酒による飲酒自制セミナー実施事業

- ・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信として各種講座を実施。
(10回開催、延べ参加者数 101人)

協働ステーション中央の利用登録団体・相談件数の推移



5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・協働ステーション中央の相談件数は減少が見られたものの、相談の質を高めるために、複数回に分けて丁寧に取り扱う方法を引き続き実施したことにより、登録団体の増加につながり、協働事業の理解を深めた。さらには、男女平等センター「ブーケ21」が認定NPO法人エンパワメントかながわと業務委託を締結し、SNSチャット相談事業を開始するなど、さまざまな形態での協働に結びつけられた。 ・令和7年度実施分の協働提案事業については5件の相談があったが、採択には至らなかった。コロナ禍以降は提案件数が低調に推移しており、相談から提案の申請までの期間が短く、所管部署との十分な調整期間が確保できない課題を解消するべく、3カ月の公募期間を廃止し、令和8年度実施分から通年募集とした。また、これまでは「課題設定型」と「自由テーマ型」と分かれていた募集事業を、基本計画との整合を図る「持続可能なまちづくりや災害に強いまちづくりの実現、地域コミュニティの活性化等の行政課題や、地域の課題解決に向けて具体的な効果や成果が期待できる事業」とした。 ・令和5年度採択「女性防災リーダー養成事業」においては、自主グループが立ち上がり、協働ステーション中央「つながりマルシェ」に出店するなど参加者の意識や満足度も高く、令和7年度も継続実施となった。 ・社会貢献活動事業補助金制度については、令和4年度に認定した3事業に補助金を交付したほか、令和6年度は9件の相談のうち2件の申請があり、1件を認定した。また本制度の活用促進および社会貢献活動団体の負担軽減のため、補助率を2分の1から4分の3へと引き上げ、令和6年度認定事業から適用することとした。 ・協働推進会議の提言に基づき、本区協働事業を体系的に取りまとめた「中央区の協働」リーフレットを発行した。
	課題	・協働提案事業については、事業構築や庁内の調整に時間を要し、さらに行政課題と社会貢献活動団体が提案する事業内容とのマッチングに課題があることから、引き続きニーズの把握や、周知を進める必要がある。 ・社会貢献活動事業補助金制度において、本事業の趣旨および制度活用に至るまでの支援について、引き続き周知を広く行う必要がある。 ・全庁的な協働提案事業に対する認知度の向上のため、引き続き、職員研修等を通して理解を深めていく必要がある。 ・団体の活動形態の変化や、企業のCSR活動への関心の高まり等の環境の変化に対応していく必要がある。

② 今後の方向性	・中間支援拠点としての協働ステーション中央が実施する各種講座や登録団体の情報発信を行い、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境を整えるとともに、利用登録団体数を増やしていく。また、引き続き丁寧な相談支援を行っていくことで、社会貢献活動事業補助金や協働事業提案につなげていく。 ・補助金の交付等により社会貢献活動の裾野を広げることで、協働事業提案を行うことができる団体を増加させ、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。 ・協働提案事業採択の可能性を高めていくために、引き続き職員研修を行い、認知度の向上を図っていく。また、庁内各課に対しアンケートを実施することで広くニーズを把握し、業務に関連する社会貢献活動の情報を積極的に提供していく。 ・協働を取り巻く変化に対応していくため、既存事業の活用について、協働推進会議において協議を進めていく。
----------	---

1 事業概要

事業名	【129】公衆浴場対策事業			部課名	区民部地域振興課	
事業目的	・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の維持向上につなげていく。 ・世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育む。					
事業内容	・公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。 ・区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設する。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			SDGsとの 関連	
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上				

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	3,035,595	3,136,782	101,187	地方区税	0	0	0
	物件費	38,199,592	38,602,632	403,040	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	18,585,400	19,017,700	432,300	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	411,500	445,342	33,842	行政収支差額	△60,232,087	△61,202,456	△970,369
(内訳等)	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	60,232,087	61,202,456	970,369	通常収支差額	△60,232,087	△61,202,456	△970,369
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△60,232,087	△61,202,456	△970,369
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	60,091,349	61,250,660	1,159,311
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△140,738	48,204	188,942
	勘定科目	物件費			勘定科目	補助費等		
	決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 38,448,300円			決算額の主な内訳	・公衆浴場対策事業実施に対する補助金 19,017,700円		
	主な増減理由	・ふれあい銭湯開設委託料の実績増 402,600円			主な増減理由	・公衆浴場対策事業実施に対する補助金実績増 432,300円		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

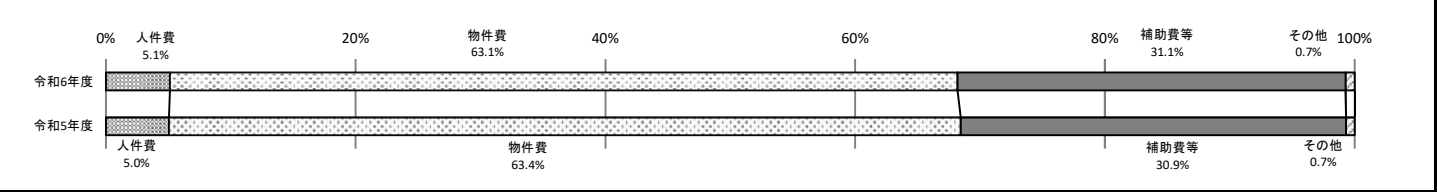
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				還付未済金	0	0	0
	収入未済	0	0	0	特別区債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	賞与引当金	227,909	240,379	12,470
	その他	0	0	0	その他	0	0	0
	固定資産				固定負債			
	土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物	0	0	0	退職給与引当金	2,200,756	2,075,612	△125,144
	工作物	0	0	0	その他	0	0	0
	重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,428,665	2,315,991	△112,674
(内訳等)	インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△2,428,665	△2,315,991	112,674
	建設仮勘定	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
	その他	0	0	0				
	資産の部 合計	0	0	0				
	勘定科目							
	決算額の主な内訳	—						
	主な増減理由	—						

3 実施内容

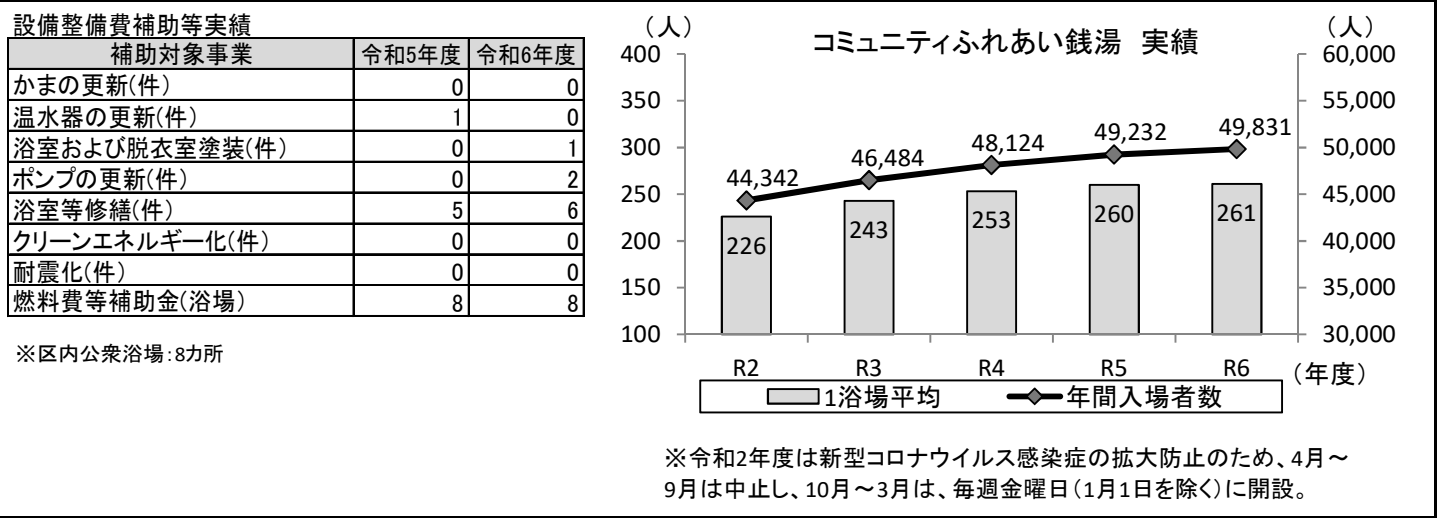
①	公衆浴場対策	②	コミュニティふれあい銭湯	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

① 令和6年度 の取組状況	現状・成果	・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。 ・コミュニティふれあい銭湯は、世代間交流やコミュニティ意識形成の促進を図っている。 ・令和5年度に続き、公衆浴場の入場者を増やす試みとして、浴場組合と友好都市である山形県東根市を仲介する支援を行った結果、各浴場は東根市のりんごを使用した「りんごの湯」を開催し、好評を得た。
	課題	・コミュニティふれあい銭湯は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で一時中止したこと等により入場者数は大幅に減少した。入場者数は回復傾向にあるが、コロナ禍以前の水準(令和元年度実績 62,636人)には戻っていない。 ・昨今の物価高騰や入浴料金統制額の引き上げ等による浴場の課題を整理した上で、対策を講じていく必要がある。

② 今後の方向性	・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。 ・地域住民の交流や触れ合いを促進するため、引き続きコミュニティふれあい銭湯を実施するとともに、区SNSを活用することにより、若年層の利用人数の増加を図っていく。 ・令和7年度からコミュニティふれあい銭湯の入浴料金を200円に引き上げるため、利用者への周知を行っていく。 ・利用者の好評を得た「りんごの湯」について、令和7年度も引き続き開催を支援していく。
-------------	---

1 事業概要

事業名	【130】公設浴場管理事業			部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。				
事業内容	・公設浴場(3浴場)の維持管理を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	1,517,796	1,568,390	50,594	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	14,887,585	15,632,316	744,731	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	683,100	1,060,400	377,300	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	59,633,673	0	△59,633,673	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,394,359	5,394,359	0	その他	642,307	804,647	162,340
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	642,307	804,647	162,340
	賞与・退職給与引当金繰入額	205,749	222,671	16,922	行政収支差額	△81,679,955	△23,073,489	58,606,466
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	82,322,262	23,878,136	△58,444,126	通常収支差額	△81,679,955	△23,073,489	58,606,466
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△81,679,955	△23,073,489	58,606,466
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	76,215,228	17,703,232	△58,511,996
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△5,464,727	△5,370,257	94,470
(内訳等)	勘定科目	物件費			勘定科目	維持補修費		
	決算額の主な内訳	・入船湯給湯ボイラー等設備保守等委託 8,251,006円 ・入船湯賃料および共益費 3,056,102円 ・設備等修繕費 1,120,130円			決算額の主な内訳	・十思湯温浴系統排水槽排水ポンプ交換工事 550,000円 ・銀座湯照明器具交換工事 311,300円 ・銀座湯機械室膨張タンクほか取替工事 199,100円		
	主な増減理由	・設備保守等委託費増 576,569円 ・設備等修繕費増 34,793円			主な増減理由	・銀座湯設備等改修工事費皆増 510,400円 ・十思湯設備改修等工事費減 △133,100円		
	勘定科目	投資的経費			勘定科目	その他(行政収入)		
	決算額の主な内訳	・実績なし			決算額の主な内訳	・十思湯電気料金 804,647円		
	主な増減理由	・銀座湯保全改修工事費の皆減 △59,633,673円			主な増減理由	・十思湯電気料金増 162,340円		

(単位:円)

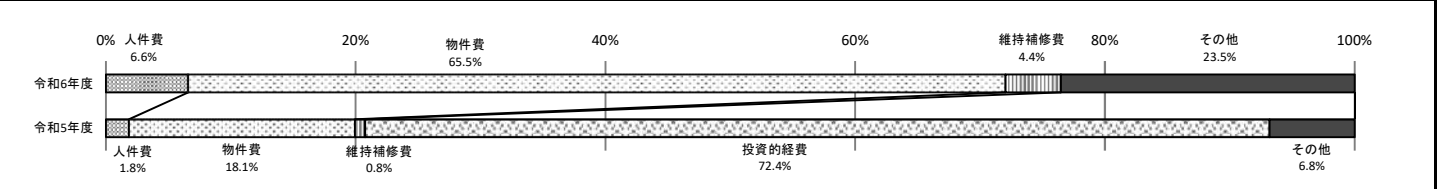
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
(内訳等)		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0
		その他	0	0		賞与引当金	113,954	120,190
	固定資産	土地	106,264,000	106,264,000	固定負債	その他	0	0
		建物	221,168,738	215,774,379	△5,394,359	特別区債	0	0
		工作物	0	0		退職給与引当金	1,100,378	1,037,806
		重要物品	0	0		その他	0	0
		インフラ資産	0	0		負債の部合計	1,214,332	1,157,996
		建設仮勘定	0	0		正味財産の部合計	326,218,406	320,880,383
		その他	0	0		負債・正味財産の部合計	327,432,738	322,038,379
	資産の部 合計		327,432,738	322,038,379	△5,394,359			
	勘定科目	建物				土地		
	決算額の主な内訳	・十思湯 215,774,378円 ・銀座湯(S50年竣工) 1円				・銀座湯敷地 106,264,000円		
	主な増減理由	・十思湯減価償却による減 △5,394,359円				・増減なし		

3 実施内容

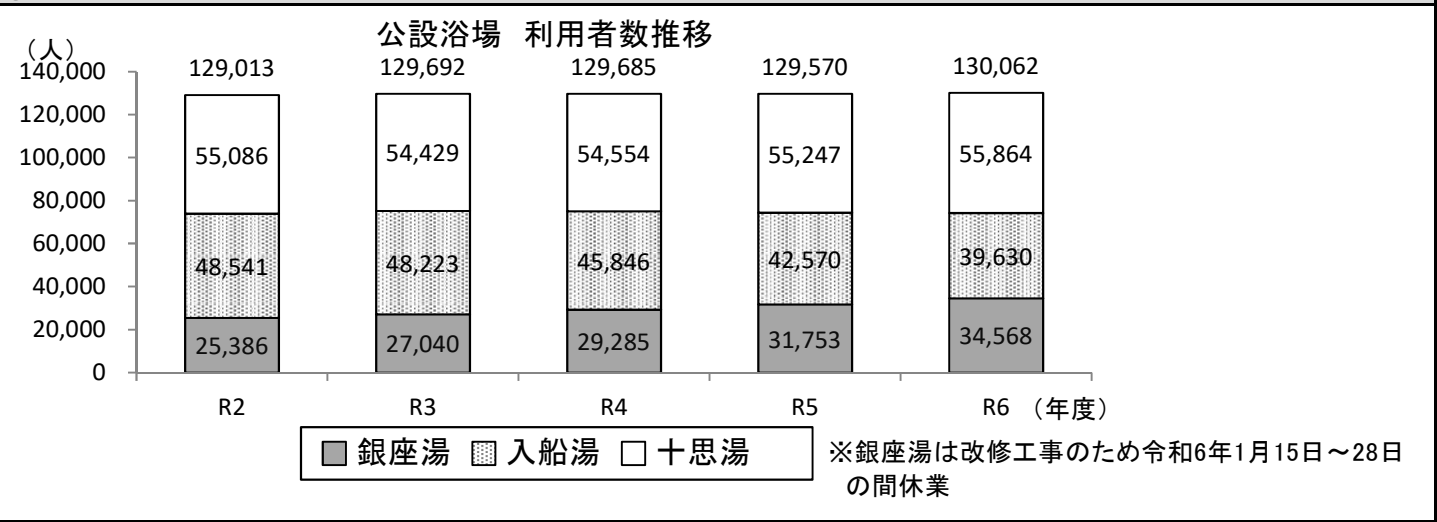
①	公設浴場の維持管理	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

①	現状・成果	令和6年度の取組状況	・コロナ禍により令和2年度当初は利用者の減少が見られたが、その後の利用者は令和6年度までおおむね一定数を保っている。(令和元年度実績 124,803人) ・入船湯は、入居しているビルの建替えや賃貸借契約期間満了により、令和7年3月31日をもって営業を終了した。
	課題		・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

②	今後の方向性	・利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、必要に応じて修繕等を行っていく。 ・地域住民の交流やふれあいを促進するため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。
---	--------	--

1 事業概要

事業名	【131】区民館管理事業			部課名	区民部地域振興課	
事業目的	・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。					
事業内容	・会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館の管理・運営を行う。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連	11	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	6,071,189	6,273,565	202,376	地方区税	0	0	0
	物件費	299,885,231	288,062,876	△11,822,355	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	22,579,700	8,470,000	△14,109,700	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	13,750	13,750	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	99,881,128	58,180,672	△41,700,456	使用料及び手数料	74,539,461	73,428,880	△1,110,581
	減価償却費	55,144,366	68,916,357	13,771,991	その他	331,039	293,587	△37,452
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	74,870,500	73,722,467	△1,148,033
	賞与・退職給与引当金繰入額	822,999	890,683	67,684	行政収支差額	△409,514,113	△357,085,436	52,428,677
	その他	0	0	0	金融収支差額	△635,147	△555,753	79,394
小計	484,384,613	430,807,903	△53,576,710	通常収支差額	△410,149,260	△357,641,189	52,508,071	
特別費用	0	6,619,268	6,619,268	当期収支差額	△410,149,260	△364,260,457	45,888,803	
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	354,723,417	288,821,241	△65,902,176	
特別収支差額	0	△6,619,268	△6,619,268	再計(一般財源調整後)	△55,425,843	△75,439,216	△20,013,373	

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・指定管理料 238,306,388円 ・光熱水費 30,055,653円	決算額の主な内訳	・日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事 32,241,000円 ・京橋プラザ分庁舎外壁および防水改修工事 12,832,600円 ・勝どき敬老館等複合施設換気設備改修工事 7,930,472円 ・京橋区民館昇降機設備取替工事 4,186,600円
主な増減理由	・光熱水費増 3,368,797円 ・指定管理料減 △15,494,376円	主な増減理由	・日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事費皆増 32,241,000円 ・浜町敬老館等複合施設大規模改修工事費皆減 △46,888,518円 ・晴海区民館冷暖房取替工事費皆減 △30,364,400円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・久松町区民館漏水対策工事 8,470,000円	決算額の主な内訳	・区民館使用料 73,269,000円
主な増減理由	・京橋プラザ区民館電動ブラインド改修工事費皆減 △9,124,500円 ・久松町区民館漏水対策工事費皆増 8,470,000円 ・人形町区民館照明設備改修工事費皆減 △8,296,200円 ・京橋プラザ区民館ボイラー取替工事費皆減 △5,159,000円	主な増減理由	・利用者減による使用料減 △1,023,360円

(単位:円)

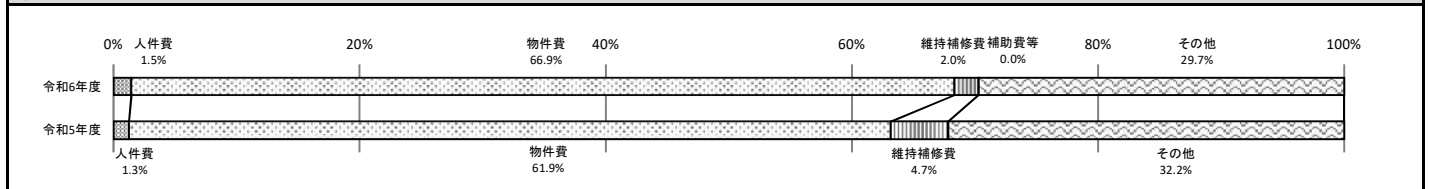
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済 0	0	0	流動負債	還付未済金 0	0	0
		不納欠損引当金 0	0	0		特別区債 0	0	0
		その他 0	0	0		賞与引当金 455,818	480,759	24,941
		土地 1,011,777,017	1,011,777,017	0		その他 16,146,000	16,146,000	0
		建物 1,257,053,054	1,219,776,806	△37,276,248		特別区債 0	0	0
		工作物 224,667	183,690	△40,977		退職給与引当金 4,401,512	4,151,224	△250,288
		重要物品 0	0	0		その他 96,876,000	80,730,000	△16,146,000
		インフラ資産 0	0	0		負債の部合計 117,879,330	101,507,983	△16,371,347
		建設仮勘定 42,006,800	318,628,800	276,622,000		正味財産の部合計 2,193,182,208	2,448,858,330	255,676,122
		その他 0	0	0		負債・正味財産の部合計 2,311,061,538	2,550,366,313	239,304,775
	資産の部 合計	2,311,061,538	2,550,366,313	239,304,775				
(内訳等)	勘定科目	建物		勘定科目	土地		建設仮勘定	
	決算額の主な内訳	・区民館(明石町ほか12区民館) 981,398,685円 ・浜町区民館機械設備および電気設備 200,159,721円 ・京橋区民館昇降機設備 38,218,400円		決算額の主な内訳	・区民館等敷地(明石町ほか7区民館) 1,011,777,017円		・八丁堀区民館改築工事 199,372,300円 ・日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事 63,591,000円 ・佃区民館・中央区休日応急診療所大規模改修工事 38,725,500円	
	主な増減理由	・区民館(明石町区民館ほか12区民館)減価償却による減 △54,501,639円 ・京橋区民館昇降機設備完了による皆増 38,218,400円 ・浜町区民館機械設備および電気設備減 △14,373,741円 ・八丁堀区民館改築による皆減 △6,619,268円		主な増減理由	・増減なし		・八丁堀区民館改築工事による増 166,061,000円 ・日本橋保健センター等複合施設大規模改修工事による皆増 63,591,000円 ・佃区民館・中央区休日応急診療所大規模改修工事による増 30,030,000円	

3 実施内容

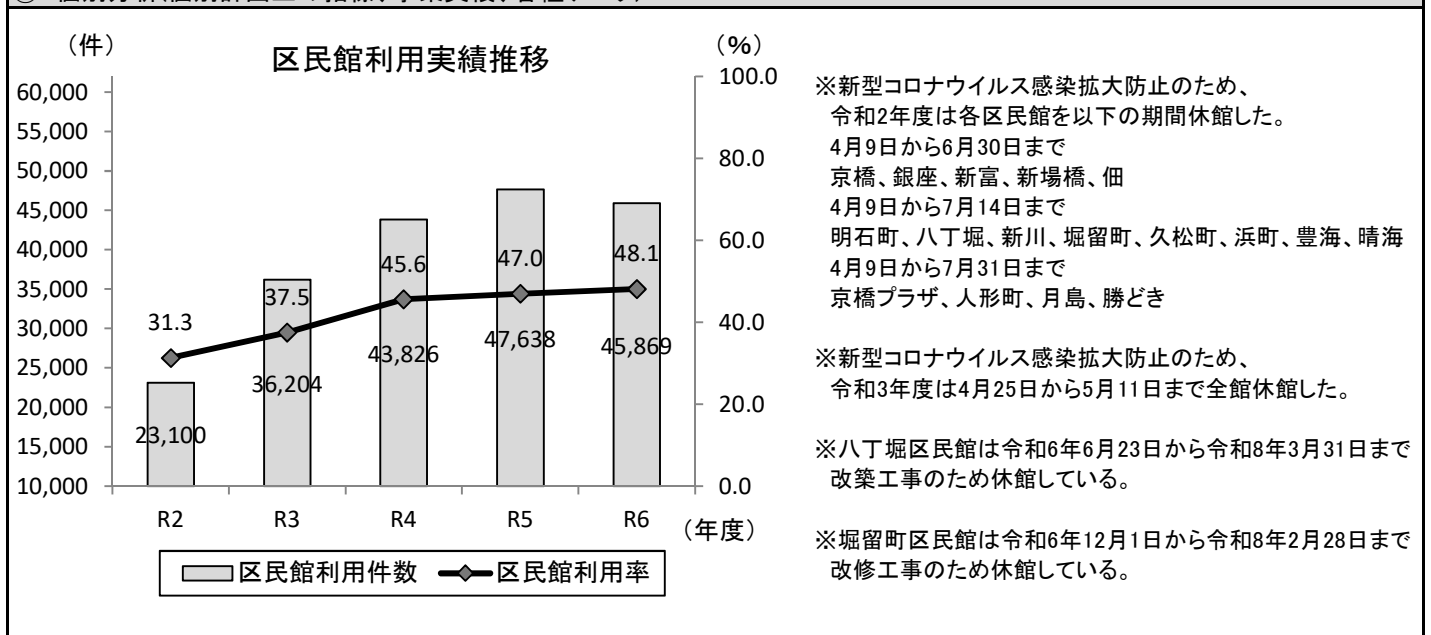
①	区民館の管理運営	②	区民館の改修	③	人形町区民館建物取得(償還費)	④	京橋プラザ区民館の改修
⑤	明石町区民館の改修	⑥	八丁堀区民館の改築	⑦	堀留町区民館の改修	⑧	久松町区民館の改修
⑨	佃区民館の改修	⑩	豊海区民館の改築	⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・令和6年度は八丁堀区民館で改築工事、堀留町区民館で改修工事により休館したため、利用件数は微減したが、区民館全体の利用率は令和5年度を上回った。 ・令和4年度から区民館6館(京橋・新川・人形町・新場橋・月島・勝どき)に貸出用Wi-Fiルーターを設置している。リモート会議等の活用が図られており、貸出件数は年々増加している。 ・令和6年10月から公共施設予約システムの更新およびキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図った。
	課題	・引き続き経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。 ・引き続きサービスの維持・向上に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちやさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。 ・大規模改修の機会を捉え、Wi-Fiの設置を含め、改修内容について指定管理者の意見も取り入れながら検討していく。
----------	--

1 事業概要

事業名	【132】中央会館「銀座ブロッサム」管理事業			部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区民の文化の向上に寄与し、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、その福祉の増進を図る。				
事業内容	・中央会館「銀座ブロッサム」の管理・運営を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
	人件費	7,588,987	7,841,955	252,968	地方区税	0	0	0
	物件費	164,836,872	178,568,795	13,731,923	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	2,972,647	202,840	△2,769,807	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	6,298,178	7,113,609	815,431	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	35,200,000	11,664,400	△23,535,600	使用料及び手数料	5,386,940	5,641,260	254,320
	減価償却費	109,866,128	78,032,990	△31,833,138	その他	12,291,514	10,273,324	△2,018,190
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	17,678,454	15,914,584	△1,763,870
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,028,749	1,113,353	84,604	行政収支差額	△310,113,107	△268,623,358	41,489,749
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	327,791,561	284,537,942	△43,253,619	通常収支差額	△310,113,107	△268,623,358	41,489,749
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△310,113,107	△268,623,358	41,489,749
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	199,895,133	190,710,880	△9,184,253
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△110,217,974	△77,912,478	32,305,496
(内訳等)	勘定科目	物件費			勘定科目	投資的経費		
	決算額の主な内訳	・指定管理料 176,338,092円			決算額の主な内訳	・漏水対策工事 11,664,400円		
	主な増減理由	・修繕費増による指定管理料増 15,417,365円 ・特定建築物等定期点検業務(外壁調査)委託料皆減 △2,541,000円			主な増減理由	・アスベスト対策補修工事費皆減 △35,200,000円 ・漏水対策工事費皆増 11,664,400円		
	勘定科目	補助費等			勘定科目	その他(行政収入)		
	決算額の主な内訳	・利用料金減免額の補填に係る支出 6,874,450円			決算額の主な内訳	・指定管理者利益相当分の増による区への納付金 6,575,769円 ・指定管理者による光熱水費の一部戻入金 3,697,555円		
	主な増減理由	・利用料金減免額の補填に係る支出の増 810,330円			主な増減理由	・指定管理者利益相当分の増による区への納付金減 △2,808,173円 ・指定管理者による光熱水費の一部戻入金増 789,983円		

(単位:円)

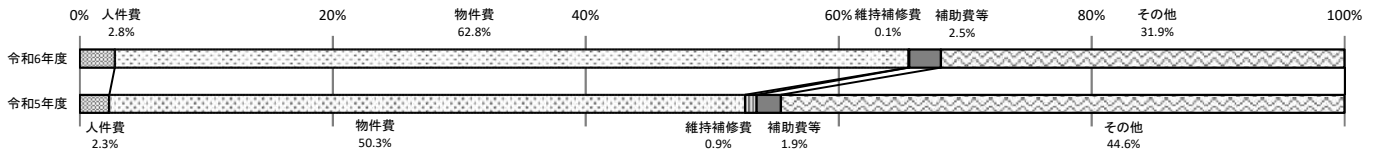
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	569,773	600,948	31,175
	土地	612,997,600	612,997,600	0	その他	0	0	0
	建物	785,574,726	707,678,654	△77,896,072	固定負債			
	工作物	1,071,182	934,264	△136,918	特別区債	0	0	0
	重要物品	9	9	0	退職給与引当金	5,501,890	5,189,030	△312,860
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	6,071,663	5,789,978	△281,685
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	1,393,571,854	1,315,820,549	△77,751,305
	資産の部 合計	1,399,643,517	1,321,610,527	△78,032,990	負債・正味財産の部合計	1,399,643,517	1,321,610,527	△78,032,990
(内訳等)	勘定科目	建物			勘定科目	土地		
	決算額の主な内訳	・中央会館 707,678,654円			決算額の主な内訳	・中央会館敷地 612,997,600円		
	主な増減理由	・中央会館減価償却による減 △77,896,072円			主な増減理由	・連続地中壁増深部分減価償却による減 △136,918円		

3 実施内容

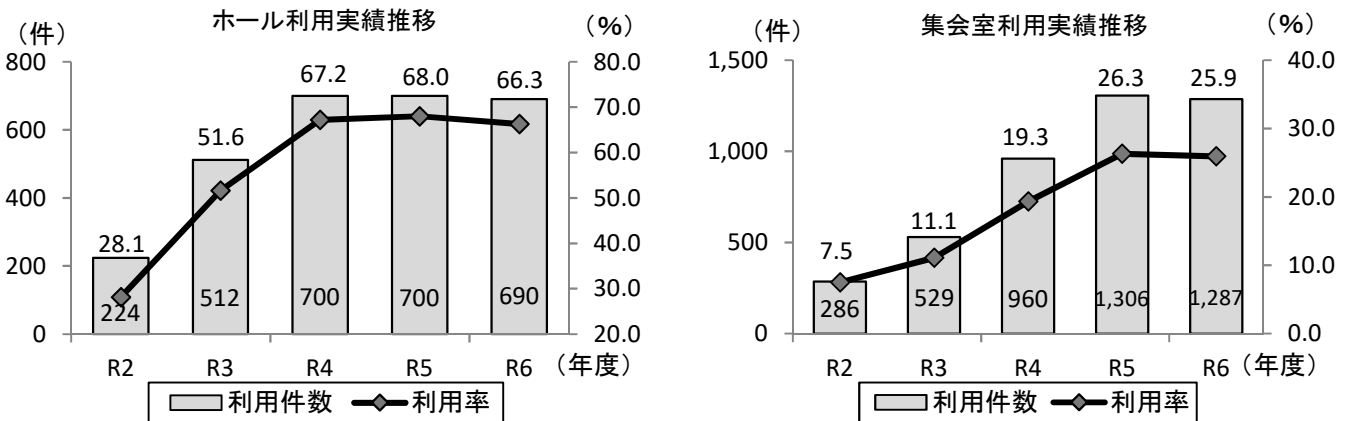
①	中央会館「銀座 Blossom」の管理運営	②	中央会館「銀座 Blossom」の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



※令和2年4月9日から6月30日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※令和3年4月25日から5月11日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・ホール利用件数および集会室利用件数ともに、令和5年度と比較しおおむね横ばいとなっている。 ・令和6年度の結婚式場利用件数は6件あったが、全てが東京ロケーションボックスの利用によるものであり、結婚式での利用はなかった。 ・1階レストラン部分の活用について検討した結果、令和8年2月から公益財団法人中央区勤労者サービス公社の執務室として使用することとなった。
	課題	・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。 ・ホール・集会室ともにコロナ禍以前の利用実績(令和元年度利用実績 ホール640件、集会室1,246件)を上回る一方で、結婚式場の利用は低水準で推移している。

今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考に、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、必要に応じた修繕等を行うことで、コミュニティ活動の場の提供を図るとともに、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。 ・婚礼ニーズの多様化等に伴い、結婚式場の利用が低迷していることから、結婚式機能を廃止し、6階フロアのあり方について、当面の間区役所会議室として活用するとともに、区有施設の有効活用の観点からその機能を検討していく。
--------	---

1 事業概要

事業名	【133】セレモニーホール管理事業			部課名	区民部地域振興課
事業目的	・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として設置している。				
事業内容	・セレモニーホールの管理・運営を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
行政費用	人件費	3,794,494	3,920,978	126,484	地方区税	0	0	0
	物件費	26,488,095	27,049,365	561,270	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	7,128,300	6,705,900	△422,400
	減価償却費	9,863,602	9,863,602	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	7,128,300	6,705,900	△422,400
	賞与・退職給与引当金繰入額	514,374	556,677	42,303	行政収支差額	△33,532,265	△34,684,722	△1,152,457
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	40,660,565	41,390,622	730,057	通常収支差額	△33,532,265	△34,684,722	△1,152,457
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△33,532,265	△34,684,722	△1,152,457
(内訳等)	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	23,492,740	24,881,375	1,388,635
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△10,039,525	△9,803,347	236,178
	勘定科目	物件費			勘定科目	使用料及び手数料		
	決算額の主な内訳	・セレモニーホール業務委託 14,923,799円 ・光熱水費 2,242,298円			決算額の主な内訳	・セレモニーホール使用料 6,705,900円		
	主な増減理由	・全熱交換器ユニットの修繕費皆減 △770,000円 ・光熱水費増 659,213円 ・カーテンクリーニング費皆増 387,578円 ・特定建築物点検委託費増 126,734円			主な増減理由	・利用実績減によるセレモニーホール使用料減 △422,400円		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

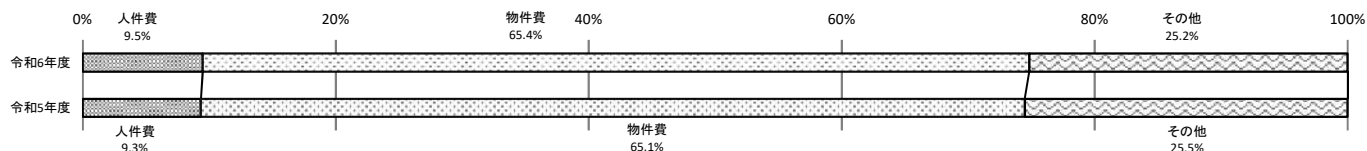
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
貸借対照表	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	284,886	300,474	15,588
	土地	120,548,000	120,548,000	0	その他	0	0	0
	建物	216,198,042	206,370,860	△9,827,182	固定負債			
	工作物	801,240	764,820	△36,420	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	2,750,945	2,594,515	△156,430
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	3,035,831	2,894,989	△140,842
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	334,511,451	324,788,691	△9,722,760
	資産の部 合計	337,547,282	327,683,680	△9,863,602	負債・正味財産の部合計	337,547,282	327,683,680	△9,863,602
	勘定科目	建物			勘定科目	土地		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・セレモニーホール 206,370,860円			決算額の主な内訳	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円		
	主な増減理由	・セレモニーホール減価償却による減 △9,827,182円			主な増減理由	・増減なし		
(内訳等)	勘定科目	工作物			勘定科目	工作物		
	決算額の主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 764,820円			決算額の主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁減価償却による減 △36,420円		

3 実施内容

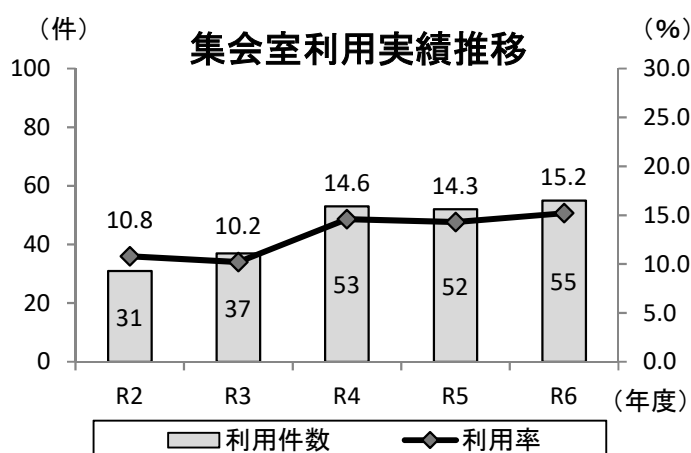
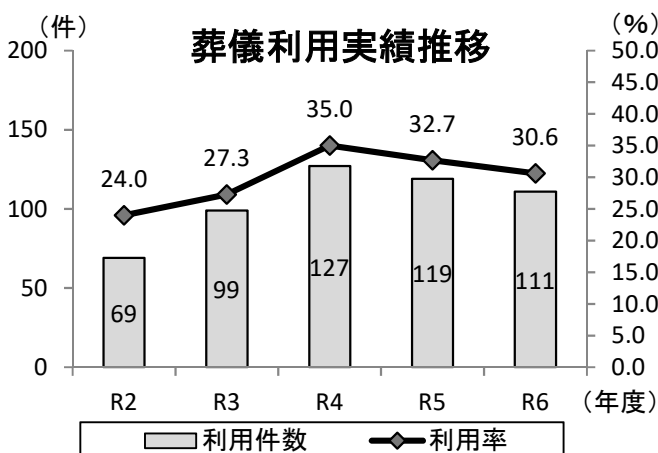
①	セレモニーホールの管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



※令和2年10月1日から12月15日まで改修工事のため休館

5 総括

① 令和6年度 の取組状況	現状・成果	- 葬儀利用件数はコロナ禍から回復傾向であったものの令和4年度以降減少傾向にある。(令和元年度実績 150件) - 集会室利用件数はコロナ禍から回復傾向にあったものの令和4年度以降横ばいである。(令和元年度実績 94件)
	課題	経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

- 利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めていく。
- 利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。

1 事業概要

事業名	【134】浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業			部課名	区民部地域振興課
事業目的	・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として公共の利便に資するとともに区民福祉の向上を図る。				
事業内容	・浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理・運営を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
行政コスト計算書	人件費	2,276,695	2,352,587	75,892	地方区税	0	0	0
	物件費	43,604,608	47,561,843	3,957,235	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	5,424,860	5,169,260	△255,600
	減価償却費	21,938,688	21,922,112	△16,576	その他	2,960	5,810	2,850
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	5,427,820	5,175,070	△252,750
	賞与・退職給与引当金繰入額	308,625	334,006	25,381	行政収支差額	△62,700,796	△66,995,478	△4,294,682
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	68,128,616	72,170,548	4,041,932	通常収支差額	△62,700,796	△66,995,478	△4,294,682
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△62,700,796	△66,995,478	△4,294,682
(内訳等)	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	40,656,554	45,109,520	4,452,966
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△22,044,242	△21,885,958	158,284
	勘定科目	物件費			勘定科目	使用料及び手数料		
	決算額の主な内訳	・指定管理料 47,383,822円			決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 5,169,260円		
	主な増減理由	・自動ドア保全整備等の増による指定管理料の増 3,821,866円			主な増減理由	・葬儀、会議利用件数減による使用料減 △255,600円		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・コピーサービス代 5,810円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・コピーサービス代の増 2,850円			主な増減理由	—		

(単位:円)

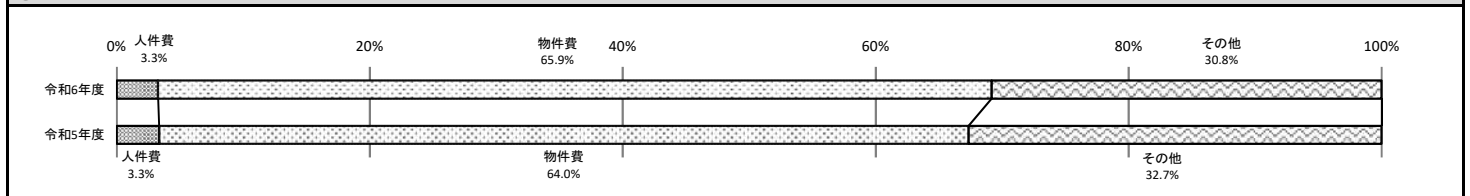
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
貸借対照表	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	170,932	180,284	9,352
	土地	331,255,656	331,255,656	0	その他	0	0	0
	建物	773,902,229	752,404,946	△21,497,283	固定負債			
	工作物	3,585,330	3,160,501	△424,829	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	1,650,567	1,556,709	△93,858
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	1,821,499	1,736,993	△84,506
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	1,106,921,716	1,085,084,110	△21,837,606
	資産の部 合計	1,108,743,215	1,086,821,103	△21,922,112	負債・正味財産の部合計	1,108,743,215	1,086,821,103	△21,922,112
(内訳等)	勘定科目	建物			勘定科目	土地		
	決算額の主な内訳	・浜町集会施設 752,404,946円			決算額の主な内訳	・浜町集会施設敷地 331,255,656円		
	主な増減理由	・浜町集会施設減価償却による減 △21,497,283円			主な増減理由	・増減なし		

3 実施内容

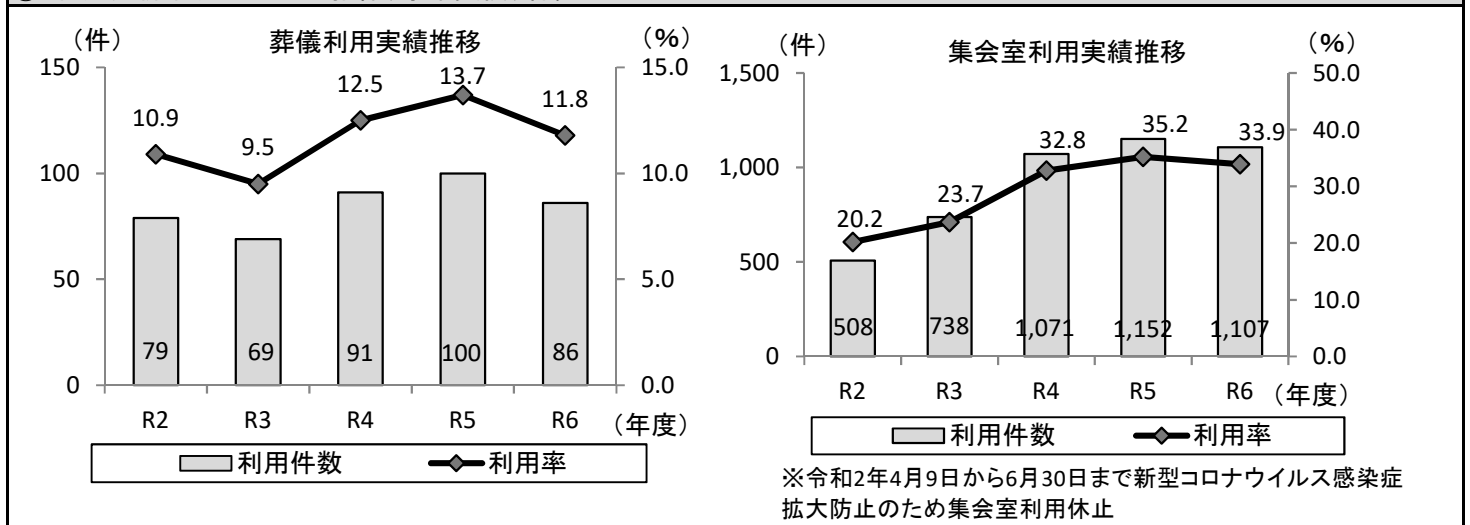
①	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・コロナ禍で減少していた葬儀利用件数は令和4年度以降回復し、令和5年度に比べ減少したものの、コロナ禍前の水準(令和元年度実績 88件)で推移している。 ・集会室の利用件数は、令和3年度以降回復傾向にあるが、コロナ禍前の水準(令和元年度実績 1,366件)には達していない。 ・令和6年10月からキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図った。
	課題	・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。 ・サービスの維持・向上に努め、利用者満足度を高めることで、集会室の利用率の向上につなげる必要がある。

今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、必要に応じた修繕等を行っていくことにより、コミュニティ活動の場の提供を行っていく。
--------	--

1 事業概要

事業名	【135】地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）			部課名	区民部地域振興課	
事業目的	・町会、自治会やその他地域団体の活動の場を提供し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。					
事業内容	・地域コミュニティルームの維持管理を行う。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			SDGsとの 関連	
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上				

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	1,517,796	1,568,390	50,594	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	6,486,788	7,211,242	724,454	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	222,255	0	△222,255	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	415,600	1,006,560	590,960	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	5,676,000	12,912,900	7,236,900	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	4,964,655	4,964,655	0	その他	291,138	273,155	△17,983
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	291,138	273,155	△17,983
	賞与・退職給与引当金繰入額	205,749	222,671	16,922	行政収支差額	△19,197,705	△27,613,263	△8,415,558
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	19,488,843	27,886,418	8,397,575	通常収支差額	△19,197,705	△27,613,263	△8,415,558
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△19,197,705	△27,613,263	△8,415,558
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	14,162,682	22,672,710	8,510,028
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△5,035,023	△4,940,553	94,470
	勘定科目	投資的経費			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・ハイテクセンター等複合施設外壁改修工事 9,075,000円 ・京橋プラザ分庁舎外壁および防水改修工事 3,837,900円			決算額の主な内訳	・コミュニティルームトイレ清掃等委託 4,762,401円 ・ハイテクセンター等複合施設運営業務委託等 1,272,707円 ・コミュニティルームの光熱水費 793,521円		
	主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎外壁および防水改修工事費皆増 3,837,900円 ・ハイテクセンター等複合施設外壁改修工事費増 3,399,000円			主な増減理由	・ハイテクセンター等複合施設運営業務委託費等の増 505,565円 ・コミュニティルーム清掃等委託費の増 473,515円 ・コミュニティルームの修繕費の減 △380,314円		
	勘定科目	補助費等			勘定科目	その他(行政収入)		
	決算額の主な内訳	・京華コミュニティルーム内での事故による損害賠償金 565,960円 ・湊コミュニティルーム等管理運営事業助成金 323,000円 ・新川コミュニティルーム共益費 117,600円			決算額の主な内訳	・光熱水費(京華コミュニティルーム) 189,827円 ・共益費(湊コミュニティルーム) 83,328円		
	主な増減理由	・京華コミュニティルーム内での事故による損害賠償金の皆増 565,960円			主な増減理由	・京華コミュニティルームにおける光熱水費減 △25,023円 ・湊コミュニティルームにおける共益費増 7,040円		
	勘定科目	補助費等			勘定科目	その他(行政収入)		

(単位:円)

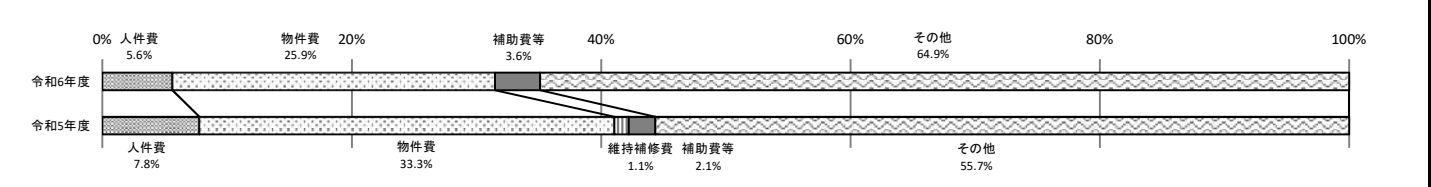
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
(内訳等)	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	113,954	120,190	6,236
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	97,446,862	92,482,207	△4,964,655	固定負債	特別区債	0	0
	工作物	0	0	0	退職給与引当金	1,100,378	1,037,806	△62,572
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,214,332	1,157,996	△56,336
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	96,232,530	91,324,211	△4,908,319
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	97,446,862	92,482,207	△4,964,655
	資産の部 合計	97,446,862	92,482,207	△4,964,655				
(内訳等)	勘定科目	建物			勘定科目	建物		
	決算額の主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 76,964,198円 ・京華コミュニティルーム(機械設備) 15,518,008円 ・京華コミュニティルーム(S4年竣工) 1円			決算額の主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円 ・京華コミュニティルーム(機械設備)減価償却による減 △1,200,584円		
	主な増減理由	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円 ・京華コミュニティルーム(機械設備)減価償却による減 △1,200,584円			主な増減理由	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円 ・京華コミュニティルーム(機械設備)減価償却による減 △1,200,584円		

3 実施内容

①	地域コミュニティルームの管理運営	②	地域コミュニティルームの改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

京橋地域コミュニティルーム		
名 称	開設年月	面積(㎡)
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37
新川コミュニティルーム	平成7年7月	57.00

地域コミュニティルームの施設別での稼働状況					
コミュニティルーム名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
京橋プラザ	278件	472件	429件	398件	429件
湊	73件	118件	183件	274件	299件
築地あかつき	138件	124件	126件	163件	165件
京華	299件	403件	407件	388件	311件
新川	35件	34件	28件	17件	11件
合計	823件	1,151件	1,173件	1,240件	1,215件

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・コミュニティルームは、管理運営委員会が自主管理し、町会・自治会や地域団体等の会合や行事等で活用され、地域活動の場としての役割を担っている。 ・京橋プラザコミュニティルームにおいて外壁改修工事を開始したほか、利用者の要望により照明のLED化等修繕を実施した。
	課題	・光熱水費の高騰によって、維持管理運営費が増加するなど、一部のコミュニティルームでは運営資金面において変わらず厳しい状況にある。 ・京橋地域内5カ所のコミュニティルームにおいては、経年劣化が進んでいるため、今後も計画的に改修工事等を行う必要がある。また、地域からはトイレ洋式化の要望もあり、対応する必要がある。 ・コミュニティルームの利用についてさらなる周知を行い、運営状況を改善していく必要がある。

今後の方向性	・コミュニティルームが、より多くの地域住民や団体に認知され活用されるよう管理運営委員会の周知活動を支援する。また、光熱水費については今後の動向を注視しつつ、各管理運営委員会の状況を確認していく。 ・計画的に施設の改修工事等を行うにあたり、京橋地域内5カ所のコミュニティルームの劣化状態を把握し、施設管理者や庁内関係部署と情報共有することで、地域活動の場を継続的に確保していく。 ・地域住民やさまざまな団体が互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、引き続き交流・活動の場として提供していく。
--------	---

1 事業概要

事業名	【136】晴海地域交流センター「はるみらい」管理事業			部課名	区民部地域振興課	
事業目的	・晴海地区において、地域の自主的な交流を促進するとともに、区民の生活様式の変化や価値観の多様化に伴い複雑化している地域課題を自ら解決できる地域力の向上を図る。					
事業内容	・晴海地域交流センター「はるみらい」の管理・運営を行う。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			SDGsとの 関連	
	施策	9-1 ささまざまな絆が生み出す「地域力」の向上				

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
	人件費	15,936,871	7,841,955	△8,094,916	地方区税	0	0	0
	物件費	125,668,225	265,055,965	139,387,740	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	161,700	0	△161,700	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	10,000,000	10,000,000	0
	補助費等	30,000	0	△30,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,115,472,444	0	△1,115,472,444	使用料及び手数料	8,860,928	39,590,848	30,729,920
	減価償却費	26,796,856	168,473,225	141,676,369	その他	6,772,963	4,207,791	△2,565,172
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	25,633,891	53,798,639	28,164,748
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,160,372	1,113,353	△1,047,019	行政収支差額	△1,260,592,577	△388,685,859	871,906,718
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	1,286,226,468	442,484,498	△843,741,970	通常収支差額	△1,260,592,577	△388,685,859	871,906,718
	特別費用	20,524,483	0	△20,524,483	当期収支差額	△1,281,117,060	△388,685,859	892,431,201
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	1,233,056,846	220,333,146	△1,012,723,700
	特別収支差額	△20,524,483	0	20,524,483	再計(一般財源調整後)	△48,060,214	△168,352,713	△120,292,499
(内訳等)	勘定科目	物件費			勘定科目	投資的経費		
	決算額の主な内訳	・指定管理料 232,670,213円 ・晴海地域交流センター光熱水費 24,619,705円			決算額の主な内訳	・実績なし		
	主な増減理由	・通年開館に伴う指定管理料の増 158,892,774円 ・開設準備および維持管理業務委託料の皆減 △25,945,713円 ・通年開館に伴う光熱水費の増 10,611,537円			主な増減理由	・温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事費の皆減 △1,004,165,818円 ・初度調弁費の皆減 △111,306,626円		
	勘定科目	使用料及び手数料			勘定科目	都支出金		
	決算額の主な内訳	・晴海地域交流センター使用料 35,493,460円			決算額の主な内訳	・子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業補助金 10,000,000円		
	主な増減理由	・通年開館に伴う晴海地域交流センター使用料の増 28,311,640円			主な増減理由	・増減なし		

(単位:円)

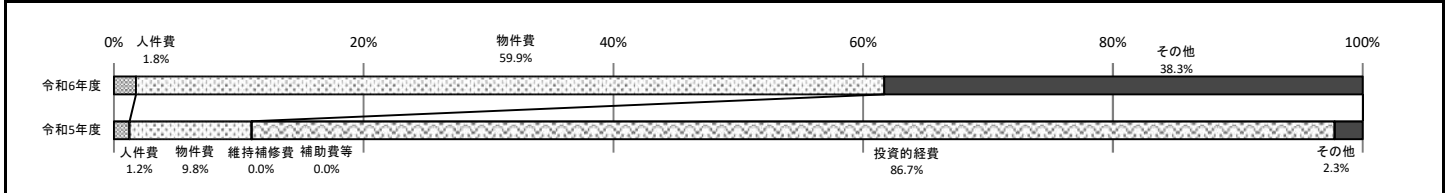
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	1,196,522	600,948	△595,574
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	2,679,110,954	2,519,876,681	△159,234,273	固定負債			
	工作物	107,509,636	103,446,855	△4,062,781	特別区債	0	0	0
	重要物品	25,927,000	20,750,829	△5,176,171	退職給与引当金	11,553,968	5,189,030	△6,364,938
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	12,750,490	5,789,978	△6,960,512
	その他	15,608,274	15,608,274	0	正味財産の部合計	2,815,405,374	2,653,892,661	△161,512,713
	資産の部 合計	2,828,155,864	2,659,682,639	△168,473,225	負債・正味財産の部合計	2,828,155,864	2,659,682,639	△168,473,225
(内訳等)	勘定科目	建物			勘定科目	重要物品		
	決算額の主な内訳	・晴海地域交流センター「はるみらい」建物 2,519,876,681円			決算額の主な内訳	・厨房機器等 10,839,829円 ・券売機等 9,911,000円		
	主な増減理由	・建物の減価償却による減 △159,234,273円			主な増減理由	・重要物品の減価償却による減 △5,176,171円		

3 実施内容

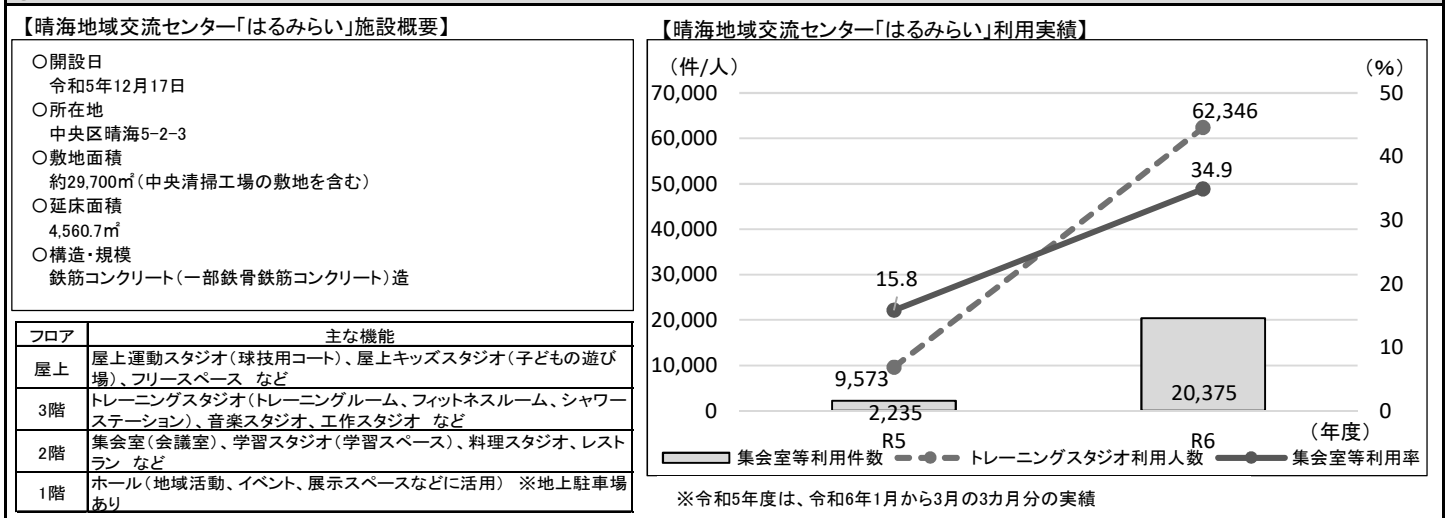
①	晴海地域交流センター「はるみらい」の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・開設から1年が経過し、施設の利用率の向上を図るとともに、安定的な施設運営の実現に努めた。 ・晴海地域交流センター運営協議会、指定管理者、区の三者による連絡会を四半期ごとに開催し、運営や施設管理の状況について意見交換を行った。 ・集会室等およびトレーニングスタジオにおいてキャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性の向上および現金管理等業務の省力化を図った。 ・地域活動スタジオの貸出しや、地域サポーター制度の導入等、地域の自主的な交流の促進に努めた。
	課題	・音楽スタジオや多目的スタジオ、トレーニングスタジオ等は利用率が高い一方、料理スタジオや工作スタジオ等は利用率が低水準で推移しているため、全体的な利用率の向上を図る必要がある。 ・地域の自主的な交流を促進するため、地域活動スタジオの活用方法の周知や、地域サポーターの登録人数の増加を図っていく必要がある。 ・開設から1年が経過し、新たに把握した施設特性や課題を整理していく必要がある。

今後の方向性	・利用者満足度を高めるため、利用者の要望および運営協議会の意見を基にサービス向上を目指すとともに、SNSや区広報の活用により広く施設を周知し、利用率の向上を図る。 ・運営協議会、指定管理者、区の三者で連携し、引き続き定期的に施設の運営等について意見交換を行っていく。 ・地域活動スタジオを活用したイベントの開催や、地域サポーターへの登録方法を広く周知し、地域の自主的な交流を生み出す拠点となるよう運営していく。 ・安定的な施設運営のため、蓄積したノウハウを活用し、運営マニュアルの整備を進めていく。
--------	--

1 事業概要

事業名	【137】日本橋特別出張所管理事業			部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・日本橋地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。				
事業内容	・日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を行う。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口業務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連		
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	61,782,028	48,802,897	△12,979,131	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	47,001,627	44,437,326	△2,564,301	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,371,370	1,672,715	301,345	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	82,768,541	187,374,146	104,605,605	使用料及び手数料	1,075,200	1,088,700	13,500
	減価償却費	24,695,129	24,695,129	0	その他	88,108	111,754	23,646
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	1,163,308	1,200,454	37,146
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,229,992	6,568,787	△1,661,205	行政収支差額	△224,685,379	△312,350,546	△87,665,167
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	225,848,687	313,551,000	87,702,313	通常収支差額	△224,685,379	△312,350,546	△87,665,167
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△224,685,379	△312,350,546	△87,665,167
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	197,175,483	288,366,433	91,190,950
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△27,509,896	△23,984,113	3,525,783
(内訳等)	勘定科目	投資的経費			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所大規模改修工事 187,374,146円			決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 24,232,436円 ・光熱水費 9,489,076円		
	主な増減理由	・日本橋特別出張所大規模改修工事費の増 104,605,605円			主な増減理由	・使用実績減による光熱水費減 △3,032,267円 ・大規模改修工事による維持管理業務減 △164,518円		
	勘定科目	維持補修費			勘定科目	使用料及び手数料		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・正面玄関および出張所入口自動ドア修繕 1,182,500円 ・だれでもトイレ自動ドア修繕 187,088円 ・だれでもトイレフラッシュバルブ交換 119,427円			決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,088,700円		
	主な増減理由	・補修工事実績増による維持補修費増 301,345円			主な増減理由	・納税証明等発行件数の増による手数料増 13,500円		

(単位:円)

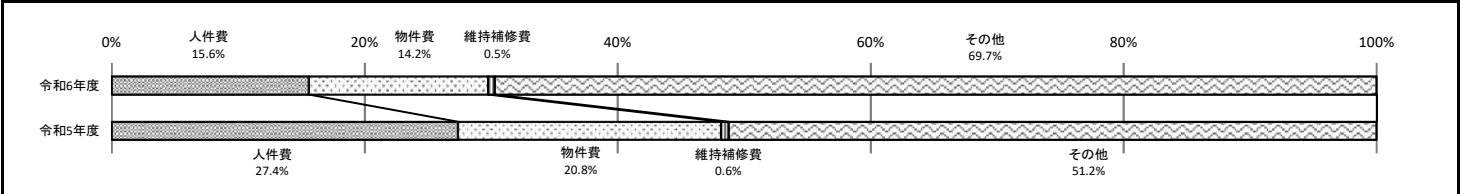
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
貸借対照表	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	4,558,181	3,545,594	△1,012,587
	土地	66,356,466	66,356,466	0	その他	0	0	0
	建物	597,876,397	573,961,343	△23,915,054	固定負債			
	工作物	5,878,402	5,098,327	△780,075	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	44,015,117	30,615,278	△13,399,839
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	298,841,200	765,185,614	466,344,414	負債の部合計	48,573,298	34,160,872	△14,412,426
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	920,379,167	1,376,440,878	456,061,711
(内訳等)	資産の部 合計	968,952,465	1,410,601,750	441,649,285	負債・正味財産の部合計	968,952,465	1,410,601,750	441,649,285
	勘定科目	建設仮勘定			勘定科目	建物		
	決算額の主な内訳	・5年度仮勘定 298,841,200円 ・大規模改修工事 445,887,414円 ・大規模改修監理業務委託 20,457,000円 ・6年度期首残高 △196,235,400円			決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所 573,961,343円		
	主な増減理由	・大規模改修工事費の増 445,887,414円 ・大規模改修監理業務委託の増 20,457,000円			主な増減理由	・建物の減価償却による減 △23,915,054円		
(内訳等)								
(内訳等)								

3 実施内容

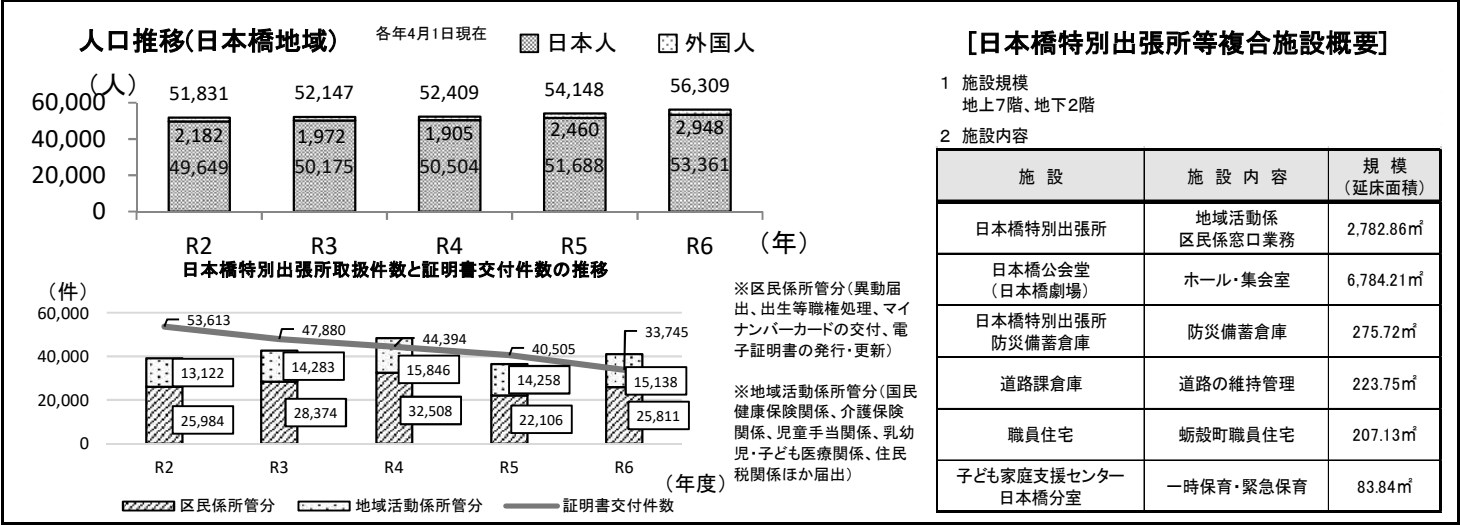
①	日本橋特別出張所の管理運営	②	日本橋特別出張所の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	- 日本橋特別出張所等複合施設の大規模改修について、工事関係者との会議を定期的に行うことで、工事の進捗管理や情報共有を図った。 - 人口推計によると日本橋地域の人口は、今後も増加していくことが見込まれている。 - 窓口における証明書等発行手数料のキャッシュレス決済や、パソコンやスマートフォンによる窓口の混雑状況確認と当日の順番待ちの予約ができる受付予約システムを継続して実施し、利用者の利便性向上を図っている。 - 対象者は限定されるものの、通常は申請から1カ月を要するマイナンバーカードの交付が1週間程度で可能となる特急発行が令和6年12月から導入され、早急に交付を受ける必要のある方に対応している。
	課題	- 大規模改修による設備の機能更新が完了するまでは、各設備の経年劣化の程度や耐用年数等を考慮し、日常の保守点検をきめ細かに実施していく必要がある。 1階出張所部分の改修工事期間中は、2階へ仮移転して業務を行う必要があることから、区民への周知が必要である。 - マイナンバーカードの更新等による窓口不足に対応する必要がある。

今後の方向性	- 大規模改修にあたり、引き続き工事業者等と情報共有を図りながら、改修工事が円滑に進むよう調整を行っていく。 - 引き続き施設設備の保守点検をきめ細かに実施していく。 2階仮移転期間中の窓口業務について、円滑に実施できるよう関係部署や工事業者との連絡調整を綿密に行っていくとともに、区のおしらせ・区ホームページ等で区民への周知を図っていく。 - 多様化する区民ニーズに対応するため、デジタル技術を活用した行政サービスの向上を図っていく。 - マイナンバーカードの更新等に係る窓口不足については、対象者への事前のお知らせ等により窓口での手続きが円滑に行えるよう取組を進める。
--------	--

1 事業概要

事業名	【138】自治振興事務(日本橋特別出張所)			部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・町会の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化、ならびに区事業の普及促進を図る。				
事業内容	・区政への各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催する。 ・コミュニティ連絡相談員を配置して、町会と積極的にコミュニケーションを取る。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
行政費用	人件費	7,722,754	3,308,671	△4,414,083	地方区税	0	0	0
	物件費	723,272	816,140	92,868	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,028,749	445,342	△583,407	行政収支差額	△9,474,775	△4,570,153	4,904,622
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
(内訳等)	小計	9,474,775	4,570,153	△4,904,622	通常収支差額	△9,474,775	△4,570,153	4,904,622
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△9,474,775	△4,570,153	4,904,622
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	9,122,929	4,618,357	△4,504,572
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△351,846	48,204	400,050
	勘定科目	物件費			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 574,227円 ・行政懇談会会場使用料 205,656円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・行政懇談会食糧費の増 91,822円 ・行政懇談会会場使用料の増 1,276円			主な増減理由	—		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
貸借対照表	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	569,773	240,379	△329,394
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債			
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	5,501,890	2,075,612	△3,426,278
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	6,071,663	2,315,991	△3,755,672
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	△6,071,663	△2,315,991	3,755,672
(内訳等)	資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	自治振興事務	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

行政懇談会出席実績(日本橋地域)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数(団体)	68	68	68	68	68
出席団体数(団体)	※	※	36	39	37
出席率(%)	※	※	52.9	57.4	54.4

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。 ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会との連携を図っている。
	課題	・行政懇談会の出席率向上とコミュニティ連絡相談員を通じた区と町会とのさらなる連携を図っていく必要がある。

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化を支援するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

② 今後の方向性

1 事業概要

事業名	【139】コミュニティ活動支援事業(日本橋特別出張所)			部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・各種イベントの開催を促進し、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティのさらなる活性化を図る。				
事業内容	・町会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
(内訳等)	人件費	10,039,580	8,271,678	△1,767,902	地方区税	0	0	0
	物件費	15,258	28,768	13,510	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	20,684,000	20,995,000	311,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,337,373	1,113,353	△224,020	行政収支差額	△32,076,211	△30,408,799	1,667,412
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	32,076,211	30,408,799	△1,667,412	通常収支差額	△32,076,211	△30,408,799	1,667,412
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△32,076,211	△30,408,799	1,667,412
(内訳等)	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	31,618,812	30,529,311	△1,089,501
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△457,399	120,512	577,911
	勘定科目	補助費等			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 14,895,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 6,100,000円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・地域の盆おどりの実績増による助成金の増 1,000,000円 ・地域手づくりイベント実績減による助成金の減 △689,000円			主な増減理由	—		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
(内訳等)	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	740,704	600,948	△139,756
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	7,152,456	5,189,030	△1,963,426
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	7,893,160	5,789,978	△2,103,182
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	△7,893,160	△5,789,978	2,103,182
	資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	地域手づくりイベント推進助成	②	地域の盆おどりに対する助成	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

地域手づくりイベント推進助成件数(日本橋)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象団体数(団体)	68	68	68	75	75
内 連合町会数	—	—	—	7	7
助成団体数(団体)	1	4	37	53	51
助成割合(%)	1.5	5.9	54.4	70.7	68.0
助成件数(件)	1	5	50	80	79
内 地域連携加算	—	—	—	9	9

地域盆おどり大会助成件数(日本橋)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
助成件数(件)	0	0	15	23	28

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

※地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から助成対象団体に連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に、一律10万円を加算して助成する地域連携加算を追加した。

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・町会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、経費の一部を助成している。 ・地域手づくりイベント推進助成は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた令和3年度以前に比べ、助成団体数および助成件数ともに増加している。 ・地域盆おどり大会助成についても、コロナ禍前の令和元年度実績(26件)を上回っている。
	課題	・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントおよび盆おどりの開催が長期間できなかったことで、今まで積み重ねた経験やノウハウの継承が行われていないことやイベント事業に携わる町会の減少等が原因でイベントの開催が困難になるなどの影響が出ている。 ・地域手づくりイベント推進助成を活用した連合町会は2団体、地域連携加算の利用は9件にとどまっており、さらなる利用の促進を図る必要がある。

今後の方向性	・町会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を高めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。 ・地域手づくりイベント推進助成において、連合町会が助成対象となったことと地域連携加算が追加されたことについて、引き続き周知を行い、活用を促進していく。 ・「地域コミュニティの担い手養成塾」への案内等、地域に根付いたイベントを次世代へ継承していく担い手づくりに対する支援を行っていく。
--------	---

1 事業概要

事業名	【140】地域コミュニティルーム管理事業(日本橋特別出張所)			部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・町会やその他地域団体の活動の場を提供し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。				
事業内容	・地域コミュニティルームの維持管理を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連		
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	2,316,826	1,654,334	△662,492	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	8,848,115	9,944,079	1,095,964	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,263,026	1,752,802	489,776	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	170,000	142,000	△28,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,082,400	0	△1,082,400	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,444,398	3,444,398	0	その他	77,177	79,617	2,440
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	77,177	79,617	2,440
	賞与・退職給与引当金繰入額	308,625	222,671	△85,954	行政収支差額	△17,356,213	△17,080,667	275,546
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	17,433,390	17,160,284	△273,106	通常収支差額	△17,356,213	△17,080,667	275,546
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△17,356,213	△17,080,667	275,546
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	13,806,261	13,660,371	△145,890
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△3,549,952	△3,420,296	129,656
	勘定科目	物件費			勘定科目	維持補修費		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・光熱水費 2,511,688円 ・浜町コミュニティルーム敷地賃借料 2,257,900円 ・地域コミュニティルーム警備委託 1,235,520円			決算額の主な内訳	・浜町コミュニティルーム自動火災報知設備更新工事 908,600円 ・十思コミュニティルームガスヒーポン設備修繕工事 745,202円 ・中洲コミュニティルーム換気扇交換工事 99,000円		
	主な増減理由	・浜町コミュニティルーム敷地賃借料の増 473,568円 ・使用実績増による光熱水費増 313,467円			主な増減理由	・十思コミュニティルームガスヒーポン設備修繕工事費の減 △358,874円 ・浜町コミュニティルーム自動火災報知設備更新工事費および中洲コミュニティルーム換気扇交換工事費の皆増 1,007,600円		
(内訳等)	勘定科目	補助費等			勘定科目	その他(行政収入)		
	決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム管理運営事業助成金の交付 89,000円 ・中洲コミュニティルーム管理運営事業助成金の交付 53,000円			決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム電気使用料 79,617円		
	主な増減理由	・コミュニティルーム管理運営事業助成金の実績減 △28,000円			主な増減理由	・使用実績増による電気使用料の増 2,440円		

(単位:円)

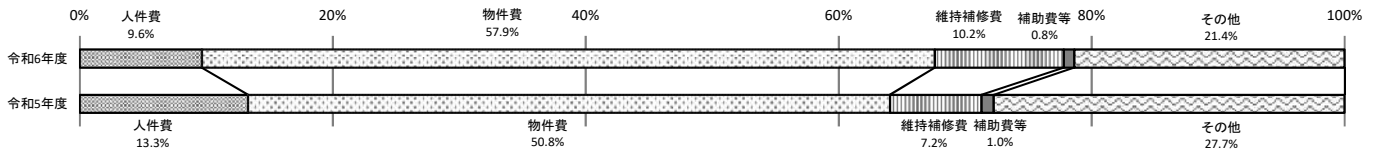
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
(内訳等)	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	170,932	120,190	△50,742
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	49,843,335	46,398,937	△3,444,398	固定負債	特別区債	0	0
	工作物	0	0	0	退職給与引当金	1,650,567	1,037,806	△612,761
	重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,821,499	1,157,996	△663,503
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	48,021,836	47,593,493	△428,343
	その他	0	2,352,552	2,352,552	負債・正味財産の部合計	49,843,335	48,751,489	△1,091,846
	資産の部 合計	49,843,335	48,751,489	△1,091,846				
(内訳等)	勘定科目	建物						
	決算額の主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム 26,598,341円 ・中洲コミュニティルーム 13,407,285円 ・浜町コミュニティルーム 6,393,310円 ・十思コミュニティルーム 1円(S24竣工)						
	主な増減理由	・地域コミュニティルームの減価償却による減 △3,444,398円						

3 実施内容

①	地域コミュニティルームの管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

日本橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年11月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年10月	126.44
十思コミュニティルーム	平成13年1月	201.6

地域コミュニティルームの施設別での稼働状況

コミュニティルーム名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
箱崎町	265件	390件	479件	580件	618件
浜町	118件	136件	204件	240件	239件
中洲	58件	74件	112件	116件	96件
十思	79件	194件	253件	220件	225件
合計	520件	794件	1,048件	1,156件	1,178件

5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・町会の自主管理のもと、町会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。
	課題	・日本橋地域コミュニティルームの経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、施設利用者からの意見や情報等を収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。 ・十思コミュニティルームは複合施設であることから、関係部署と施設状況の情報共有を図っていく必要がある。 ・利用者の減少や光熱水費高騰の影響により、一部コミュニティルームで収支が厳しい状況となっている。

② 今後の方向性	・施設の状況を正確に把握することで改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。 ・コミュニティルームの運営に支障をきたさないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会等の活動の場を提供していく。 ・施設の維持管理にあたっては、利用の妨げにならないよう、修繕工事や保守点検等の日程調整を綿密に行うなど配慮を行っていく。
-------------	---

1 事業概要

事業名	【141】日本橋公会堂管理事業			部課名	区民部日本橋特別出張所
事業目的	・区民の文化の向上と福祉の増進を図る。				
事業内容	・ホール(日本橋劇場)と集会室の貸出しおよび維持管理に関する業務を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト 計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	4,633,652	7,444,509	2,810,857	地方区税	0	0	0
	物件費	177,027,525	139,320,560	△37,706,965	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	263,005,200	420,338,262	157,333,062	使用料及び手数料	52,123,020	14,771,280	△37,351,740
	減価償却費	58,851,443	58,851,443	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	52,123,020	14,771,280	△37,351,740
	賞与・退職給与引当金繰入額	617,250	1,002,018	384,768	行政収支差額	△452,012,050	△612,185,512	△160,173,462
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	83	83
(内訳等)	小計	504,135,070	626,956,792	122,821,722	通常収支差額	△452,012,050	△612,185,429	△160,173,379
	特別費用	0	2	2	当期収支差額	△452,012,050	△612,185,431	△160,173,381
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	392,949,499	553,442,447	160,492,948
	特別収支差額	0	△2	△2	再計(一般財源調整後)	△59,062,551	△58,742,984	319,567
(内訳等)	勘定科目	投資的経費			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂大規模改修工事 420,338,262円			決算額の主な内訳	・指定管理料 45,074,751円 ・光熱水費 21,068,959円 ・建物維持管理業務委託 59,004,628円		
	主な増減理由	・日本橋公会堂大規模改修工事費の増 157,333,062円			主な増減理由	・大規模改修工事による指定管理料減 △29,588,783円 ・使用実績減による光熱水費減 △6,732,661円		
	勘定科目	使用料及び手数料			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料 14,771,280円			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	・日本橋公会堂大規模改修工事に伴う利用制限による使用料減 △37,351,740円			主な増減理由	—		

(単位:円)

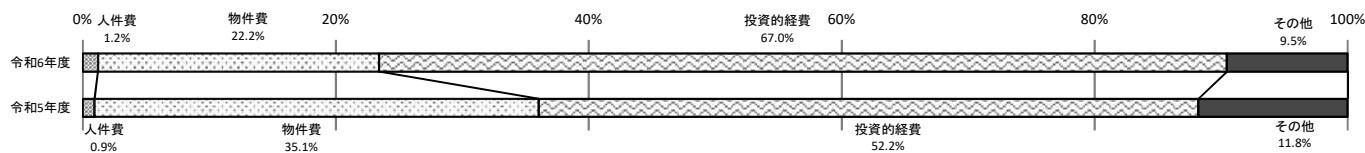
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	341,864	540,853	198,989
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	1,457,536,096	1,399,234,653	△58,301,443	固定負債	0	0	0
	工作物	0	0	0	退職給与引当金	3,301,134	4,670,127	1,368,993
	重要物品	3,300,017	2,750,015	△550,002	その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	3,642,998	5,210,980	1,567,982
	建設仮勘定	501,831,000	1,441,439,078	939,608,078	正味財産の部合計	1,959,024,115	2,838,212,766	879,188,651
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,962,667,113	2,843,423,746	880,756,633
(内訳等)	資産の部 合計	1,962,667,113	2,843,423,746	880,756,633				
	勘定科目	建設仮勘定			建物	重要物品		
	決算額の主な内訳	・大規模改修工事 898,088,078円 ・大規模改修監理業務委託 41,520,000円			・日本橋公会堂 1,399,234,653円	・ピンスポットライト2台 2,200,000円 ・花道用ピンスポットライト 550,000円		
(内訳等)	主な増減理由	・大規模改修工事費の増 414,293,078円 ・大規模改修監理業務委託料の増 23,484,000円			・日本橋公会堂建物の減価償却による減 △58,301,443円	・ピンスポットライトの減価償却による減 △550,000円		

3 実施内容

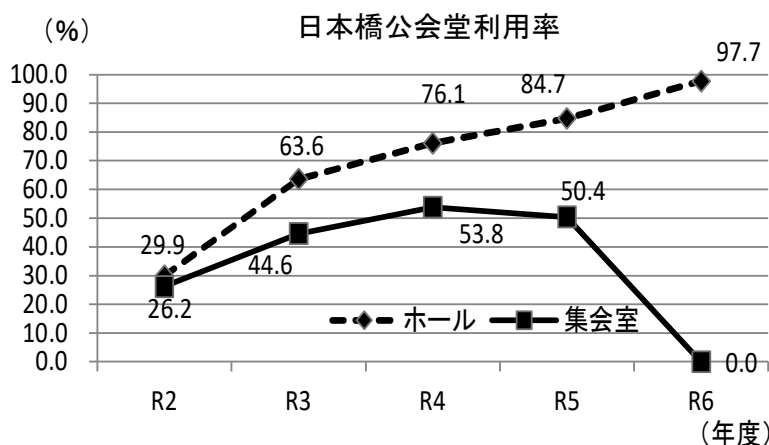
①	日本橋公会堂の管理運営	②	日本橋公会堂の改修	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



【施設概要】

(1) ホール(日本橋劇場) 日本橋区民センター3～5階
収容人数 440人(1階席293人、2階席147人)

(2) 集会室

① 洋室 4部屋

(第1、第2 定員各24人 第3、第4 定員各60人
それぞれ2室を1室で利用可能)

② 和室 2部屋

(第1、第2 定員各24人 2室を1室で利用可能)

【新型コロナウイルス感染症の影響による休館】

- ・令和2年4月9日から同年6月30日まで
- ・令和3年4月25日から同年5月11日まで

【大規模改修による利用休止】

- ・集会室 令和5年9月1日から令和8年2月28日まで
- ・ホール 令和6年6月1日から令和7年10月31日まで

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・日本橋公会堂は平成11年の開設から25年経過し、令和5年度から大規模改修工事を行っている。 ・大規模改修工事に伴う利用休止について、ホームページ等で利用者向け周知を行った。 ・令和6年度、集会室は大規模改修による利用休止中のため貸出しなし、ホールについては令和6年6月から利用を休止している。 ・ホール使用料の徴収については窓口での現金払いのみとしていたが、令和6年10月から口座振込の方法を導入して利用者の利便性向上を図った。
	課題	・大規模改修後の日本橋公会堂再開に向けた利用者への周知を行っていく必要がある。

② 今後の方向性

- ・日本橋公会堂の休館について、引き続きホームページ等で利用者への周知を行い、改修工事終了後のホールおよび集会室の利用再開についてもよりわかりやすく周知を行っていく。
- ・公演利用者・観客の声に耳を傾け、設備の保守等より一層の安全確保を行うとともに、快適にご利用いただける文化施設として運営を行っていく。

1 事業概要

事業名	【142】月島特別出張所管理事業			部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。				
事業内容	・月島特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を行う。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口業務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連		
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	81,120,652	63,510,327	△17,610,325	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	24,800,920	25,078,824	277,904	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	14,156,180	2,041,820	△12,114,360	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	1,641,300	1,402,500	△238,800
	減価償却費	5,913,772	5,726,014	△187,758	その他	93,722	95,258	1,536
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	1,735,022	1,497,758	△237,264
	賞与・退職給与引当金繰入額	10,596,114	8,127,482	△2,468,632	行政収支差額	△134,852,616	△102,986,709	31,865,907
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	136,587,638	104,484,467	△32,103,171	通常収支差額	△134,852,616	△102,986,709	31,865,907
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△134,852,616	△102,986,709	31,865,907
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	125,314,833	98,140,427	△27,174,406
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△9,537,783	△4,846,282	4,691,501
	勘定科目	物件費			勘定科目	維持補修費		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・施設維持管理等業務委託 16,526,433円 ・光熱水費 3,432,709円 ・受付発券機等の借入 1,674,589円			決算額の主な内訳	・火災受信機等バッテリーほか交換工事 451,000円 ・電話装置停電用バッテリー交換工事 423,500円 ・地下倉庫および文書倉庫の耐震固定等工事 396,000円		
	主な増減理由	・レイアウト変更に伴う備品購入費皆減 △1,707,330円 ・受付発券機の借入期間増による使用料及び賃借料増 1,070,983円 ・熱源(吸収冷温水発生機)保全整備委託の皆増 815,675円			主な増減理由	・排水ポンプ自動制御盤等一式交換工事費の皆減 △4,840,000円 ・太陽光発電PCS取替工事ほか5件の皆減 △2,953,560円 ・屋上トップライト排煙装置修繕費の皆減 △1,091,200円		
(内訳等)	勘定科目	使用料及び手数料			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,402,500円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・納税証明等(有料分)発行件数の減少による手数料減 △238,800円			主な増減理由	—		

(単位:円)

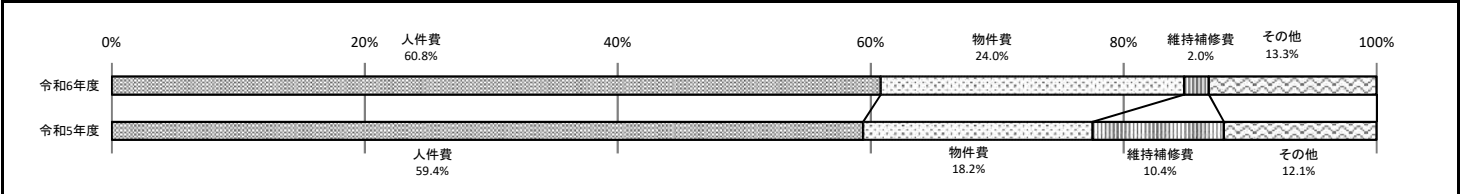
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	5,868,657	4,386,921	△1,481,736	
	固定資産	土地	937,650	937,650	0		その他	0	0	0
		建物	55,607,937	49,206,745	△6,401,192	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	9,901,036	7,947,609	△1,953,427		退職給与引当金	56,669,463	37,879,920	△18,789,543
		重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	62,538,120	42,266,841	△20,271,279
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	3,908,503	15,825,163	11,916,660
		その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	66,446,623	58,092,004	△8,354,619
資産の部 合計		66,446,623	58,092,004	△8,354,619						
(内訳等)	勘定科目	建物			工作物			土地		
	決算額の主な内訳	・月島特別出張所 48,401,897円 ・月島特別出張所等複合施設自転車置き場(3カ所) 804,848円			・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 4,291,710円 ・月島特別出張所時計塔および時計塔廻り設備 3,112,207円			・月島特別出張所等敷地 937,650円		
	主な増減理由	・減価償却による減 △3,772,587円 ・所管替えによる専有面積の減 △2,628,605円			・減価償却による減 △1,953,427円			・増減なし		

3 実施内容

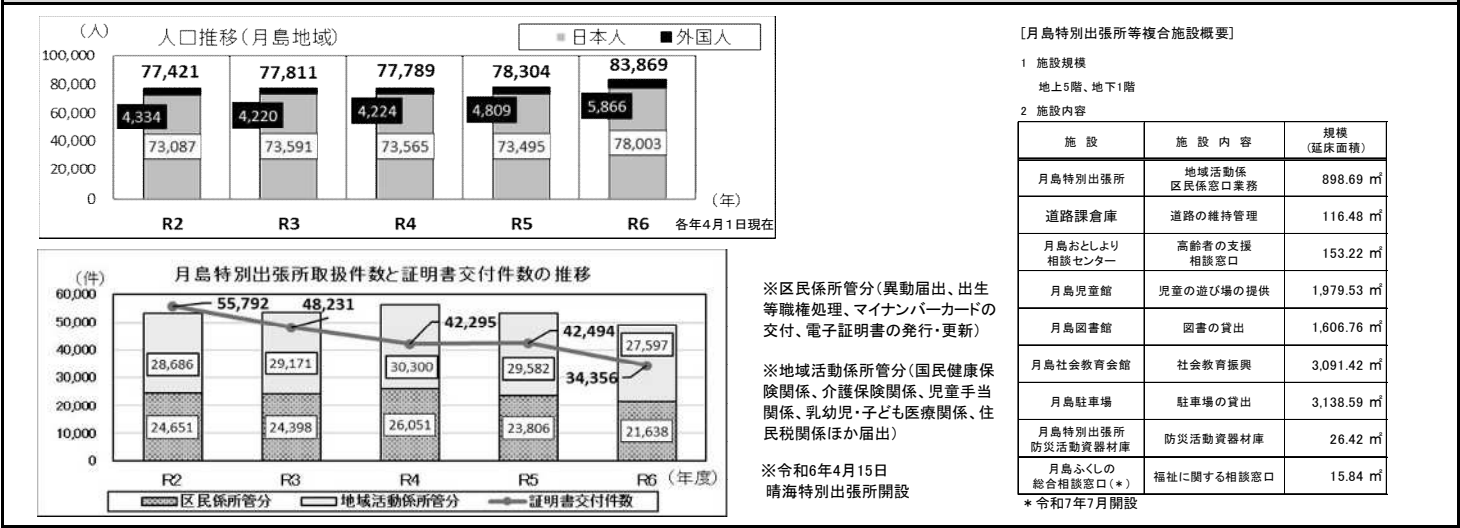
①	月島特別出張所の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年以上が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいることから、毎年、維持補修工事・小破修理が多く発生している。 ・人口推計によると、月島地域の人口は大規模開発の建設等により今後も増加していくことが見込まれている。 ・窓口における証明書等発行手数料のキャッシュレス決済や、パソコンやスマートフォンによる窓口の混雑状況確認と当日の順番待ちの予約ができる受付予約システムを継続して実施していくことにより、利用者の利便性向上を図っている。 ・対象者は限定されるものの、通常は申請から1カ月を要するマイナンバーカードの交付が1週間程度で可能となる特急発行が令和6年12月から導入され、早急に交付を受ける必要のある方に対応している。
	課題	・物価高騰の影響により今後、建物維持管理に係る経費が想定を超えるケースが生じることで修繕等に対して迅速に対応できなくなる可能性がある。 ・建物およびエレベーターをはじめとする設備の老朽化に伴い、大規模工事の必要性や修理部品の不足などのリスクが年々高まっており、計画的に維持補修を行う必要がある。 ・令和7年度からマイナンバーカードの10年の有効期限を迎える方の増加とマイナポイント第1弾にカードを受け取った方の電子証明書の更新時期が重なることに加え、大規模な集合住宅の入居時も含めた来所者数の増加に対応する必要がある。

今後の方向性	・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、常に点検等を丁寧に実施することで、大規模な補修に至るケースを未然に防ぎ経費の抑制および平準化を図りながら引き続き計画的な維持補修を行っていく。 ・エレベーターをはじめとする老朽化した設備の早期更新とともに、建物全体の大規模改修についても検討していく。 ・増加が見込まれるマイナンバーカードの交付、電子証明書の更新および大規模な集合住宅への転入等手続きの待機時間を少なくするため、窓口の増設等を検討していく。 ・多様化する区民ニーズに対応するため、デジタル技術を活用した行政サービスの向上を図っていく。
--------	--

1 事業概要

事業名	【143】自治振興事務(月島特別出張所)			部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・町会・自治会の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化、ならびに区事業の普及促進を図る。				
事業内容	・区政への各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催する。 ・コミュニティ連絡相談員を配置して、町会・自治会と積極的にコミュニケーションを取る。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
(内訳等)	人件費	3,937,897	4,350,023	412,126	地方区税	0	0	0
	物件費	565,473	670,507	105,034	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	514,374	556,677	42,303	行政収支差額	△5,017,744	△5,577,207	△559,463
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	5,017,744	5,577,207	559,463	通常収支差額	△5,017,744	△5,577,207	△559,463
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△5,017,744	△5,577,207	△559,463
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	4,841,821	5,637,462	795,641
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△175,923	60,255	236,178
(内訳等)	勘定科目	物件費			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 464,503円 ・行政懇談会会場設営委託 131,560円 ・音声ファイル反訳 24,750円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・料理等の単価増による食糧費の増 62,502円			主な増減理由	—		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

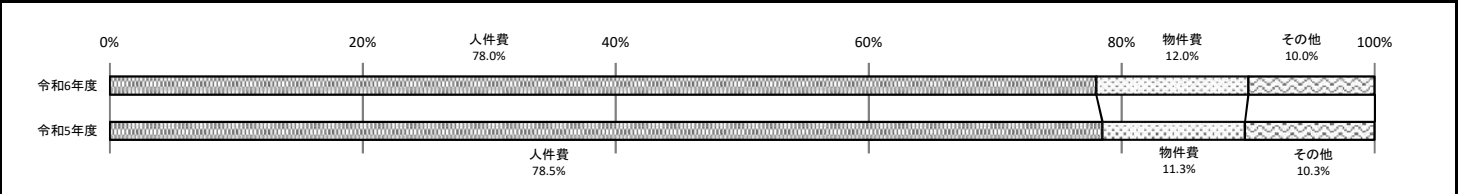
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
(内訳等)	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	284,886	300,474	15,588
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債			
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	2,750,945	2,594,515	△156,430
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	3,035,831	2,894,989	△140,842
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	△3,035,831	△2,894,989	140,842
	資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	自治振興事務	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

行政懇談会出席実績(月島地域)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数(団体)	46	46	46	46	44
出席団体数(団体)	※	※	32	36	34
出席率(%)	※	※	69.6	78.3	77.3

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・月島地域の町会・自治会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。 ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携を図っている。
	課題	・月島地域で続く大規模住宅の開発等に伴い、新たに形成される地域コミュニティに対するアプローチや既存の町会・自治会との連携についてはコミュニティ連絡相談員を通して慎重に行う必要がある。

今後の方向性	・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会・自治会活動の活性化を支援するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。 ・今後も月島地域において大規模住宅の入居が予定されていることから引き続き新たな自治会が結成されることが予想される。区として自治会結成の支援を行うとともに、既存の町会や連合町会と新たなコミュニティの連携や共存等良好な関係が構築できるようサポートを行っていく。
--------	--

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 **LPJ03** LPJ04

1 事業概要

事業名	【144】コミュニティ活動支援事業(月島特別出張所)			部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・各種イベントの開催を促進し、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティの活性化を図る。				
事業内容	・町会・自治会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連		
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用	人件費 3,937,896	4,350,023	412,127	地方区税	0	0	0
		物件費 7,932	21,554	13,622	特別区財政調整交付金	0	0	0
		維持補修費 0	0	0	国庫支出金	0	0	0
		扶助費 0	0	0	都支出金	0	0	0
		補助費等 7,921,000	9,338,000	1,417,000	分担金及び負担金	0	0	0
		投資的経費 0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費 0	0	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額 0	0	0	小計	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額 514,374	556,677	42,303	行政収支差額	△12,381,202	△14,266,254	△1,885,052
		その他 0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	12,381,202	14,266,254	1,885,052	通常収支差額	△12,381,202	△14,266,254	△1,885,052
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△12,381,202	△14,266,254	△1,885,052
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	12,205,279	14,326,509	2,121,230
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△175,923	60,255	236,178
	勘定科目	補助費等			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 6,988,000円 ・地域の盆おどりに対する助成金 2,350,000円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・地域の盆おどり大会の開催実績増による助成金の増 1,500,000円			主な増減理由	—		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	284,886	300,474	15,588	
	固定資産	土地	0	0		その他	0	0	0	
		建物	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0	
		工作物	0	0		退職給与引当金	2,750,945	2,594,515	△156,430	
		重要物品	0	0		その他	0	0	0	
		インフラ資産	0	0		負債の部合計	3,035,831	2,894,989	△140,842	
		建設仮勘定	0	0		正味財産の部合計	△3,035,831	△2,894,989	140,842	
		その他	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0	0	
	資産の部 合計		0	0						
	勘定科目					勘定科目				
	決算額の主な内訳		—			—		—		
	主な増減理由		—			—		—		

3 実施内容

①	地域手づくりイベント推進助成	②	地域の盆おどりに対する助成	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

地域手づくりイベント推進助成件数(月島地域)

()内は晴海地区を除く

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象団体数(団体)	46	46	46	50 (31)	29
内 連合町会数	—	—	—	4 (3)	3
助成団体数(団体)	6	10	18	27 (16)	21
助成割合(%)	13	21.7	39.1	54.0 (51.6)	72.4
助成件数(件)	10	17	26	41 (22)	31
内 地域連携加算	—	—	—	1 (1)	3

※令和6年度から
晴海地区の件数
は晴海特別出張
所に計上

地域盆おどり大会助成件数(月島地域)

()内は晴海地区を除く

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
助成件数(件)	0	0	0	2 (2)	7

※ 令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

※ 令和5年度は「住吉神社大祭(3年に1回開催)」開催年度

※地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から助成対象団体に連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に、一律10万円を加算して助成する地域連携加算を追加した。

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、経費の一部を助成している。 ・地域手づくりイベント推進助成は、助成団体数、助成件数のいずれも増加しており、そのうち、地域手づくりイベント推進助成を利用した連合町会は1団体、地域連携加算の利用は3件となっている。 ・地域盆おどり大会助成件数についても増加した。
	課題	・地域手づくりイベント推進助成を活用する連合町会の増加や地域連携加算利用のさらなる促進を図る必要がある。

今後の方向性	・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を強めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。 ・地域手づくりイベント推進助成において、連合町会が助成対象となったことと、地域連携加算が追加されたことについて、引き続き周知を行い、活用を促進していく。
--------	---

1 事業概要

事業名	【145】地域コミュニティルーム管理事業(月島特別出張所)			部課名	区民部月島特別出張所
事業目的	・町会・自治会やその他地域団体の活動の場を提供し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援する。				
事業内容	・地域コミュニティルームの維持管理を行う。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	2,362,736	2,610,013	247,277	地方区税	0	0	0
	物件費	3,419,635	3,278,434	△141,201	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	201,000	96,000	△105,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	4,232,609	4,232,609	0	その他	172,875	189,978	17,103
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	172,875	189,978	17,103
	賞与・退職給与引当金繰入額	308,625	334,006	25,381	行政収支差額	△10,351,730	△10,361,084	△9,354
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	10,524,605	10,551,062	26,457	通常収支差額	△10,351,730	△10,361,084	△9,354
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△10,351,730	△10,361,084	△9,354
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	6,013,567	6,164,629	151,062
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△4,338,163	△4,196,455	141,708
(内訳等)	勘定科目	物件費			勘定科目	補助費等		
	決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 2,453,232円 ・光熱水費 696,495円 ・施設修繕費 48,950円			決算額の主な内訳	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金 96,000円		
	主な増減理由	・受水槽廻り制御機器交換費の皆減 △206,761円 ・使用量実績増による光熱水費の増 204,766円 ・全熱交換器ユニット修繕費の皆減 △182,490円			主な増減理由	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営に係る助成金の減 △105,000円		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム光熱水費立替分収入 189,978円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・使用量実績増による光熱水費の増 17,103円			主な増減理由	—		

(単位:円)

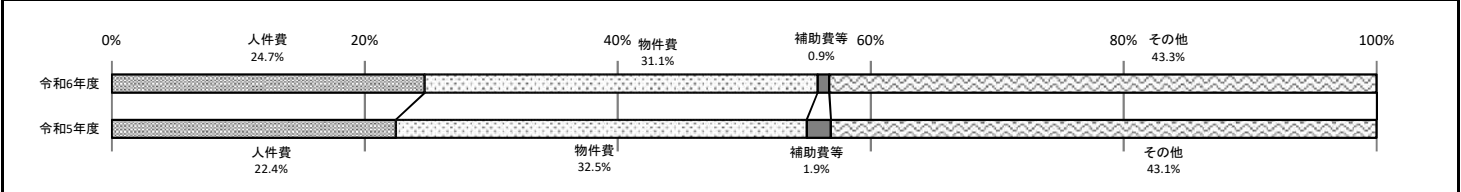
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	170,932	180,284	9,352
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	72,262,432	68,029,823	△4,232,609	固定負債	0	0	0
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	1,650,567	1,556,709	△93,858
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	1,821,499	1,736,993	△84,506
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	70,440,933	66,292,830	△4,148,103
	資産の部 合計	72,262,432	68,029,823	△4,232,609	負債・正味財産の部合計	72,262,432	68,029,823	△4,232,609
(内訳等)	勘定科目	建物						
	決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 64,094,889円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 3,934,934円			—		—	
	主な増減理由	・減価償却による減 △4,232,609円			—		—	

3 実施内容

①	地域コミュニティルームの管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

月島地域コミュニティルーム

名称	開設年月	面積(㎡)
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	367
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145

地域コミュニティルームの施設別での稼働状況

コミュニティルーム名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
勝どき	216件	380件	535件	460件	512件
月島清澄通り	136件	27件	133件	267件	314件
合計	352件	407件	668件	727件	826件

5 総括

①	現状・成果	・町会・自治会の自主管理のもと、町会・自治会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。
令和6年度の取組状況	課題	・月島地域コミュニティルームの経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

②	今後の方向性	・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。 ・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会・自治会等の活動の場を提供していく。 ・施設の維持管理にあたっては、利用の妨げにならないよう、修繕工事や保守点検等の日程調整を綿密に行うなど配慮していく。
---	--------	---

1 事業概要

事業名	【146】晴海特別出張所管理事業			部課名	区民部晴海特別出張所
事業目的	・月島地域(晴海地区)の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。				
事業内容	・晴海特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を行う。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口業務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連		
	施策	9-1 さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	31,503,165	64,059,164	32,555,999	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	8,055,890	17,520,829	9,464,939	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	441,650	441,650	国庫支出金	4,211,900	0	△4,211,900
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	84,819,582	0	△84,819,582	使用料及び手数料	0	309,000	309,000
	減価償却費	0	47,772,709	47,772,709	その他	2,182,158	82,801	△2,099,357
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	6,394,058	391,801	△6,002,257
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,114,996	9,240,836	5,125,840	行政収支差額	△122,099,575	△138,643,387	△16,543,812
	その他	0	0	0	金融収支差額	△2,703,852	△3,162,507	△458,655
	小計	128,493,633	139,035,188	10,541,555	通常収支差額	△124,803,427	△141,805,894	△17,002,467
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△124,803,427	△141,805,894	△17,002,467
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	123,396,044	95,033,429	△28,362,615
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△1,407,383	△46,772,465	△45,365,082
	勘定科目	物件費			勘定科目	投資的経費		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・総合管理業務委託 11,322,816円 ・光熱水費 3,157,519円 ・受付発券機の借入れ 1,046,100円			決算額の主な内訳	・実績なし		
	主な増減理由	・施設開設による総合管理業務委託費増 6,983,756円 ・受付発券機の借入れ皆増 1,046,100円			主な増減理由	・晴海特別出張所等複合施設完成による皆減 △84,819,582円		
(内訳等)	勘定科目	使用料及び手数料			勘定科目	その他(行政収入)		
	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 309,000円			決算額の主な内訳	・会計年度任用職員雇用保険料 82,801円		
(内訳等)	主な増減理由	・納税証明等手数料の皆増 309,000円			主な増減理由	・地中障害物等の処理に係る補償金皆減 △2,182,158円		

(単位:円)

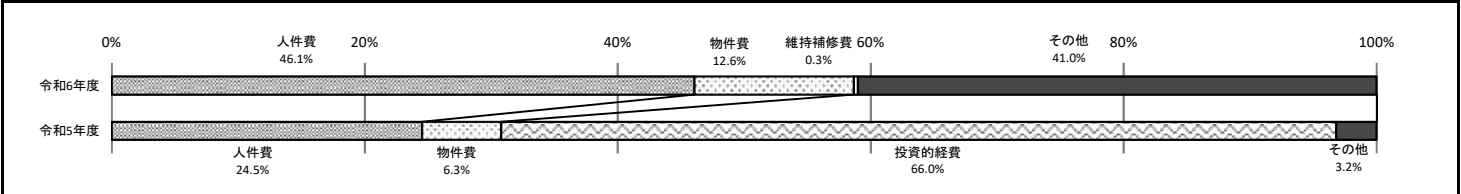
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)		
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0			特別区債	0	0	0	
		その他	0	0			賞与引当金	2,279,090	4,987,869	2,708,779	
固定資産		土地	1,441,860,732	1,441,860,732	0		その他	0	0	0	
		建物	1,030,649,257	988,320,297	△42,328,960	固定負債	特別区債	536,000,000	536,000,000	0	
		工作物	87,804,700	82,360,951	△5,443,749			退職給与引当金	22,007,558	43,068,950	21,061,392
		重要物品	1,418,450	0	△1,418,450			その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0	0			負債の部合計	560,286,648	584,056,819	23,770,171
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	2,001,446,491	1,928,485,161	△72,961,330	
		その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	2,561,733,139	2,512,541,980	△49,191,159	
		資産の部 合計	2,561,733,139	2,512,541,980	△49,191,159						
(内訳等)	勘定科目	土地			建物			特別区債(固定負債)			
	決算額の主な内訳	・晴海特別出張所等複合施設敷地 1,441,860,732円			・晴海特別出張所 988,320,297円			・晴海特別出張所整備に係る特別区債 536,000,000円			
	主な増減理由	・増減なし			・減価償却による減 △42,328,960円			・増減なし			

3 実施内容

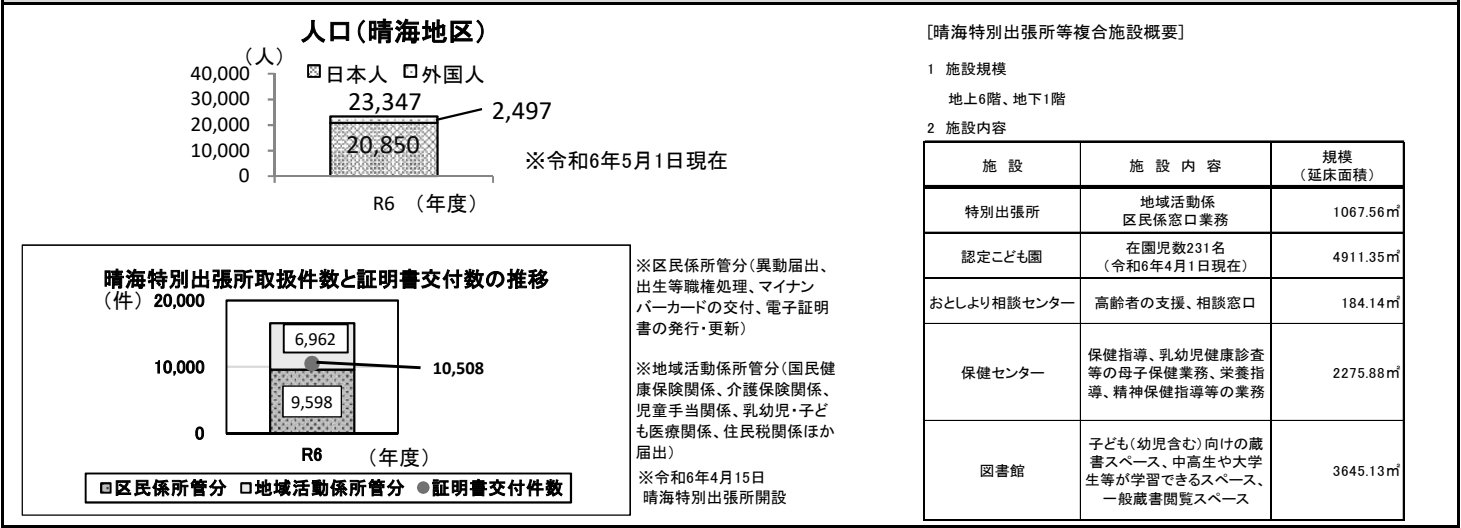
①	晴海特別出張所の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・建物のライフサイクルコスト縮減や長寿命化に向けて、総合管理業務受託者による専門的な視点からのアドバイスのもと、建物や設備に関する不具合箇所の発見や改善策を講じた。 ・スマート引越サポートシステムの運用実績は年間632件であり、利用率は6.9%であった。令和6年7～8月に実施したアンケート調査によると、利用された方からはおおむね好評で、9割以上の方から「また利用したい」との回答があった。このほか、マイナンバーカードによる特例転入が6割以上を占めるなど、窓口での手続きの多くがデジタルを活用したものとなっている。 ・対象者は限定されるものの、通常は申請から1カ月を要するマイナンバーカードの交付が1週間程度で可能となる特急発行が令和6年12月から導入され、早急に交付を受ける必要のある方に対応している。
	課題	・施設管理データを蓄積・分析することで、建物の長寿命化に向けた基礎をつくるとともにコスト削減が可能な管理スタイルを構築することが求められている。

今後の方向性	・晴海特別出張所等複合施設の維持管理について全体的に状況を把握し、安全安心な管理運営を行っていくとともに、中長期的な視点をもって、更新・長寿命化等を計画的に行い、財政負担を軽減していく。 ・多様化する区民ニーズに対応するため、引き続きスマート引越サポートシステムをはじめとするさまざまなデジタル技術を活用した行政サービスの向上を図っていく。
--------	--

1 事業概要

事業名	【147】コミュニティ活動支援事業(晴海特別出張所)(新規)			部課名	区民部晴海特別出張所
事業目的	・各種イベントの開催を促進し、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するとともに、良好なコミュニティの醸成と地域コミュニティの活性化を図る。				
事業内容	・町会・自治会が実施する手づくりイベントおよび盆おどり大会に対し、経費の一部を助成する。				
関連する個別計画					
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用				行政収入			
(内訳等)	人件費	0	3,087,189	3,087,189	地方区税	0	0	0
	物件費	0	6,199	6,199	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	0	6,954,000	6,954,000	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	445,342	445,342	行政収支差額	0	△10,492,730	△10,492,730
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	0	10,492,730	10,492,730	通常収支差額	0	△10,492,730	△10,492,730
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	0	△10,492,730	△10,492,730
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	0	10,540,934	10,540,934
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	0	48,204	48,204
(内訳等)	勘定科目	補助費等			勘定科目			
	決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 3,854,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 3,100,000円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・地域手づくりイベント推進助成の皆増 3,854,000円 ・地域の盆おどりに対する助成の皆増 3,100,000円			主な増減理由	—		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
(内訳等)	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	0	240,379	240,379
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	0	2,075,612	2,075,612
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	0	2,315,991	2,315,991
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	0	△2,315,991	△2,315,991
	資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
(内訳等)	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	地域手づくりイベント推進助成	②	地域の盆おどりに対する助成	③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

地域手づくりイベント推進助成件数(晴海地区)

	令和5年度	令和6年度
対象団体数(団体)	19	20
内 連合町会数	1	1
助成団体数(団体)	11	13
助成割合(%)	57.9	65.0
助成件数(件)	19	21
内 地域連携加算	0	1

※ 晴海特別出張所は令和6年4月15日開設のため、令和5年度は月島特別出張所による実績

地域盆おどり大会助成件数(晴海地区)

	令和5年度	令和6年度
助成件数(件)	0	15

※ 令和5年度は「住吉神社大祭(3年に1回開催)」開催年度

※ 晴海特別出張所は令和6年4月15日開設のため、令和5年度は月島特別出張所による実績

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、経費の一部を助成している。 ・地域手づくりイベント推進助成は、65%の団体が利用しており、新たに結成された自治会も含め令和5年度から2団体増加した。 ・地域盆おどり大会助成については、コロナ禍以降はじめて晴海地区15町会・自治会の参加による晴海盆おどり大会が開催された。
	課題	・新たに住民となった方が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の醸成を図っていく必要がある。 ・地域手づくりイベント推進助成における地域連携加算利用のさらなる促進を図る必要がある。

今後の方向性	・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を高めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流や地域活動への参加の機会を創出し、地域全体の活性化につなげていく。 ・設立間もない自治会を含め、本助成制度の周知や申請に対する相談等をより丁寧に行い、活用を促進していく。
--------	--

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 **LPJ04**

1 事業概要

事業名	【148】地域文化活動の推進事業			部課名	区民部文化・生涯学習課	
事業目的	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を提供するとともに、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境の整備を図る。					
事業内容	・区内の名所・旧跡、画廊・美術館等の文化資源を活用し、まち全体をミュージアムと捉えて本区の魅力を発見・再認識するためのイベント「まるごとミュージアム」を開催する。 ・地域住民自らが文化資源を展示・公開する「まちかど展示館」の運営を支援する。 ・東京国際合唱コンクールの開催を支援し、区民が世界水準の合唱文化に触れる機会を提供する。					
関連する個別計画						
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連		
	施策	9-2	豊かな心を育む文化活動の振興			

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	18,115,524	17,069,666	△1,045,858	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	1,486,061	1,578,157	92,096	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	17,161,009	16,863,997	△297,012	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	915,000	296,000	△619,000
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	915,000	296,000	△619,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,366,123	2,338,042	△28,081	行政収支差額	△38,213,717	△37,553,862	659,855
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	39,128,717	37,849,862	△1,278,855	通常収支差額	△38,213,717	△37,553,862	659,855
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△38,213,717	△37,553,862	659,855
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	37,404,471	37,806,936	402,465
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△809,246	253,074	1,062,320
	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・まちかど展示館運営協議会補助金 11,165,597円 ・東京国際合唱コンクール負担金 3,300,000円 ・まちかど展示館に係る施設管理運営費助成金 2,182,000円			決算額の主な内訳	・東京国際合唱コンクール開催によるオープニングコンサートおよびまちかどコンサート会場等使用料 906,840円 ・東京国際合唱コンクール記念品購入 570,920円		
	主な増減理由	・まちかど展示館ホームページの新規ページ作成完了等による協議会補助金減 △299,312円			主な増減理由	・まちかどコンサート送迎用バスに係る経費が原油高騰により値上げになったこと等による使用料増 77,020円		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
(内訳等)	決算額の主な内訳	・ふるさと納税による分野指定寄附金 296,000円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・ふるさと納税による分野指定寄附金減 △619,000円			主な増減理由	—		

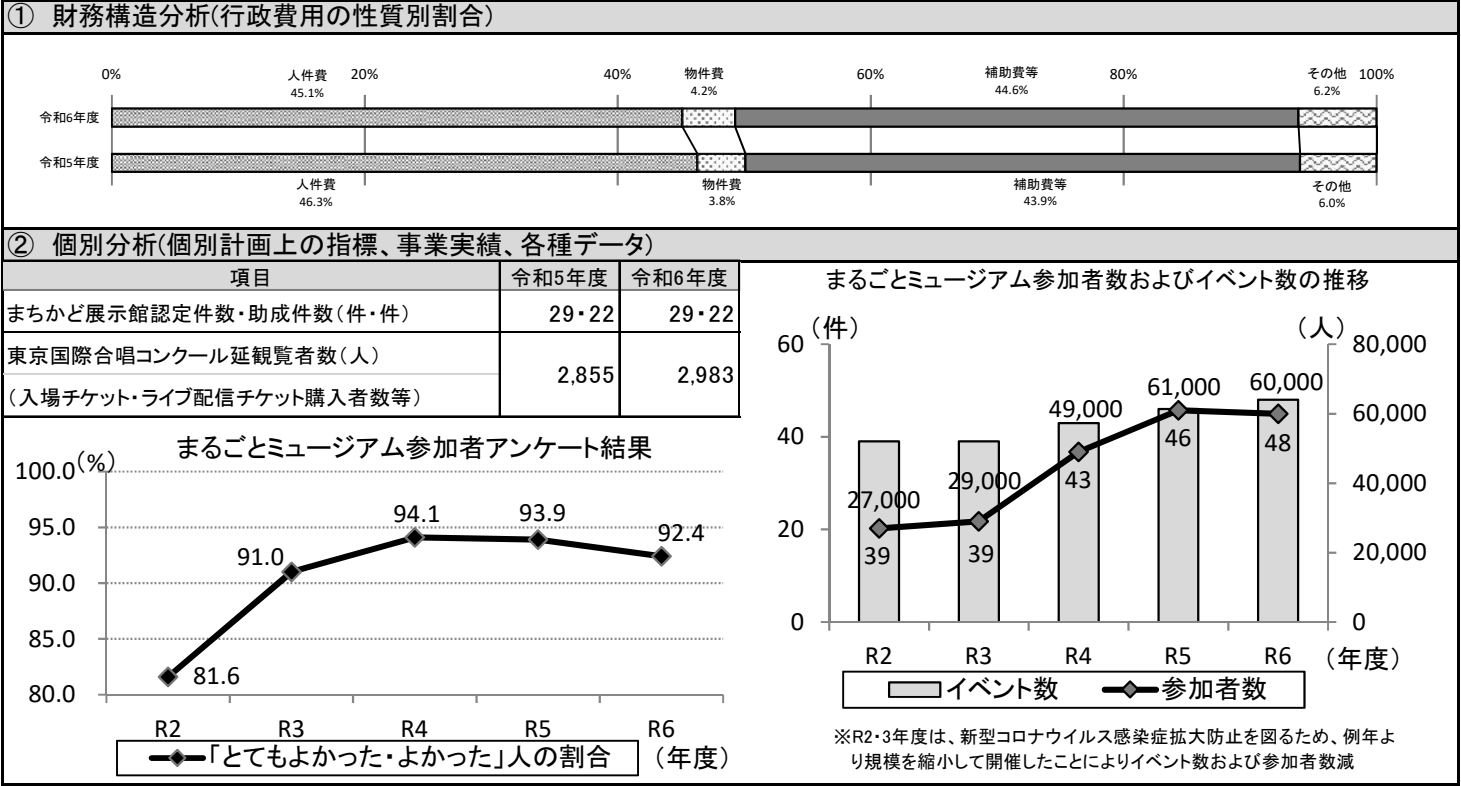
(単位:円)

② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産				流動負債			
(内訳等)	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	1,310,477	1,261,991	△48,486
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債			
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	12,654,346	10,896,963	△1,757,383
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	13,964,823	12,158,954	△1,805,869
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	△13,964,823	△12,158,954	1,805,869
(内訳等)	資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
(内訳等)	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

①	地域文化活動の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ



5 総括

①	令和6年度の取組状況	・まるとミュージアムの参加者数は、当日の気温が低く、天候不順であったにもかかわらず令和5年度とほぼ同数となり、参加者からはおおむね良い評価を得ており、区民が文化に触れる機会を提供することができている。また、区内を循環する無料貸切バスについては、人形町、晴海五丁目および江戸バスに乗り継げる場所にバス停を新設するとともに、晴海地区から日本橋方面への移動時間を短縮できるルートに変更し、参加者の利便性の向上を図った。 ・「まちかど展示館」事業は、夏休みスタンプラリー＆クイズや親子体験バスツアーを実施するとともに、銀座三越において、まちかど展示館集合イベントを開催し、老舗の逸品等の展示や実演・体験を行うほか、実演コーナーを増設し、実際の作業工程の一部を見ながら直接職人と話ができるなど地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができている。また、SNSを活用して各展示館の紹介や協議会主催のイベント情報等の記事を週2回投稿するとともに、展示館同士がフォローし合ってより多くの人に見てもらえるよう情報発信を行った結果、ホームページのアクセス数やSNSのフォロワー数が増加した。 ・東京国際合唱コンクールを共催し、観覧者から高い評価を得ている。 ・東京国際合唱コンクールに参加する合唱団が区内の商業施設において、無料で合唱を披露するまちかどコンサートを開催し、コンクールのPRを行うとともに、区民にハイレベルな合唱を楽しんでもらうため、各小学校や合唱関連のサークル団体にチラシを配布するなどコンクールへの区民招待の周知を行った。募集定員より多くの応募があったため、主催者と協議し、定員を拡大してより多くの方に鑑賞してもらった。
課題		・まるとミュージアムは、多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、継続的に事業内容の充実を図るとともに、新規事業者を確保していく必要がある。 ・「まちかど展示館」事業は、より多くの区民や観光客等に知ってもらうため、まちかど展示館運営協議会を中心に各施設の周知方法を検討し、季刊誌、ウェブサイト、SNSを活用した情報発信を行っていく必要がある。 ・東京国際合唱コンクールの認知を高めるため、より多くの区民が合唱に触れる機会を提供していく必要がある。

今後の方向性	・まるとミュージアムは、文化イベント数の拡充や内容の充実を図り、参加者の満足度向上につなげていく。 ・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、集合イベントへの出展および実演・体験コーナーの実施を促すとともに、通年で実施しているスタンプラリーや子ども向けのスタンプラリー、施設見学会等を引き続き実施する。また、SNSを活用した情報発信について、各展示館から適宜情報を提供してもらうなど掲載内容を工夫するとともに、季刊誌においては掲載内容の見直しを行いより多くの人に見てもらえるよう充実させていく。 ・東京国際合唱コンクールは、引き続きコンクールにおける区民招待者枠の確保に努めるとともに、関連事業であるまちかどコンサートにより多くの海外団体に参加してもらい、区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供していく。 ・まるとミュージアムやまちかど展示館等を通じて、引き続き、本区の歴史と伝統、多様な魅力を区民・来街者に広く知ってもらう機会の充実を図っていく。
--------	---

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名		【149】郷土資料館管理事業		部課名	教育委員会事務局図書文化財課
事業目的		・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を管理運営し、広く区民等に周知を図る。 ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展等やテーマに沿った特別展を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。			
事業内容		・郷土資料館の管理・運営を行う。			
関連する個別計画		中央区教育振興基本計画2020			
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連	
	施策	9-2	豊かな心を育む文化活動の振興		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書				
勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
行政費用	人件費	25,809,467	31,947,455	6,137,988
	物件費	60,990,632	46,200,972	△14,789,660
	維持補修費	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	補助費等	289,000	174,500	△114,500
	投資的経費	0	0	0
	減価償却費	44,896,791	44,896,791	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,131,625	1,224,689	93,064
	その他	0	0	0
小 計	133,117,515	124,444,407	△8,673,108	
特別費用	0	0	0	
特別収入	0	0	0	
特別収支差額	0	0	0	
勘定科目	物件費	勘定科目	人件費	
決算額の主な内訳	・郷土資料館の所蔵品保管委託 12,042,096円 ・郷土資料館運營業務委託 8,206,220円 ・収蔵品(考古)資料の整理等委託 4,037,000円	決算額の主な内訳	・会計年度任用職員報酬等 23,179,344円	
主な増減理由	・郷土資料館企画展の開催補助業務委託の皆減 △8,250,000円 ・展示コンテンツ原稿作成等業務委託の皆減 △5,224,780円 ・中央区歴史・文化ガイドブックの印刷費皆減 △1,201,200円	主な増減理由	・会計年度任用職員の1名増員に伴う報酬増 5,915,081円	
勘定科目	補助費等	勘定科目	都支出金	
決算額の主な内訳	・講演会講師謝礼 105,000円 ・郷土資料館サポーター活動謝礼 69,500円	決算額の主な内訳	・事務処理特例交付金 169,776円	
主な増減理由	・古文書解読が無かったことによる謝礼皆減 △124,000円	主な増減理由	・事務処理特例交付金の実績増 119,218円	

(単位:円)

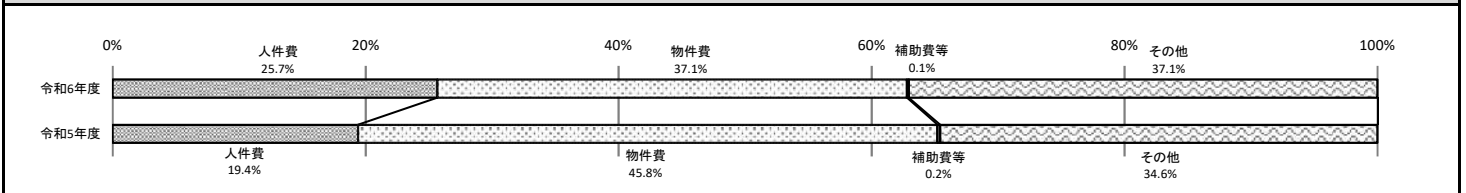
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済 0	0	0	流動負債	還付未済金 0	0	0
		不納欠損引当金 0	0	0		特別区債 0	0	0
		その他 0	0	0		賞与引当金 626,750	661,043	34,293
		土地 0	0	0		その他 0	0	0
		建物 1,062,363,831	1,021,251,475	△41,112,356	固定負債	特別区債 0	0	0
		工作物 1,658,810	1,418,800	△240,010		退職給与引当金 6,052,079	5,707,933	△344,146
		重要物品 43,177,477	39,633,052	△3,544,425		その他 0	0	0
		インフラ資産 0	0	0		負債の部合計 6,678,829	6,368,976	△309,853
		建設仮勘定 0	0	0		正味財産の部合計 1,100,521,289	1,055,934,351	△44,586,938
		その他 0	0	0		負債・正味財産の部合計 1,107,200,118	1,062,303,327	△44,896,791
	資産の部 合計	1,107,200,118	1,062,303,327	△44,896,791				
(内訳等)	勘定科目	建物		勘定科目	重要物品		工作物	
	決算額の主な内訳	・郷土資料館等 1,021,251,475円		決算額の主な内訳	・記念物(9個) 32,200,000円 ・コンピュータ(2台) 6,400,450円		・あかつき公園内シーボルト胸像 820,120円 ・江戸港史跡碑 367,500円 ・海軍経理学校記念碑 152,000円	
	主な増減理由	・減価償却による減 △41,112,356円		主な増減理由	・減価償却による減 △3,544,425円		・減価償却による減 △240,010円	

3 実施内容

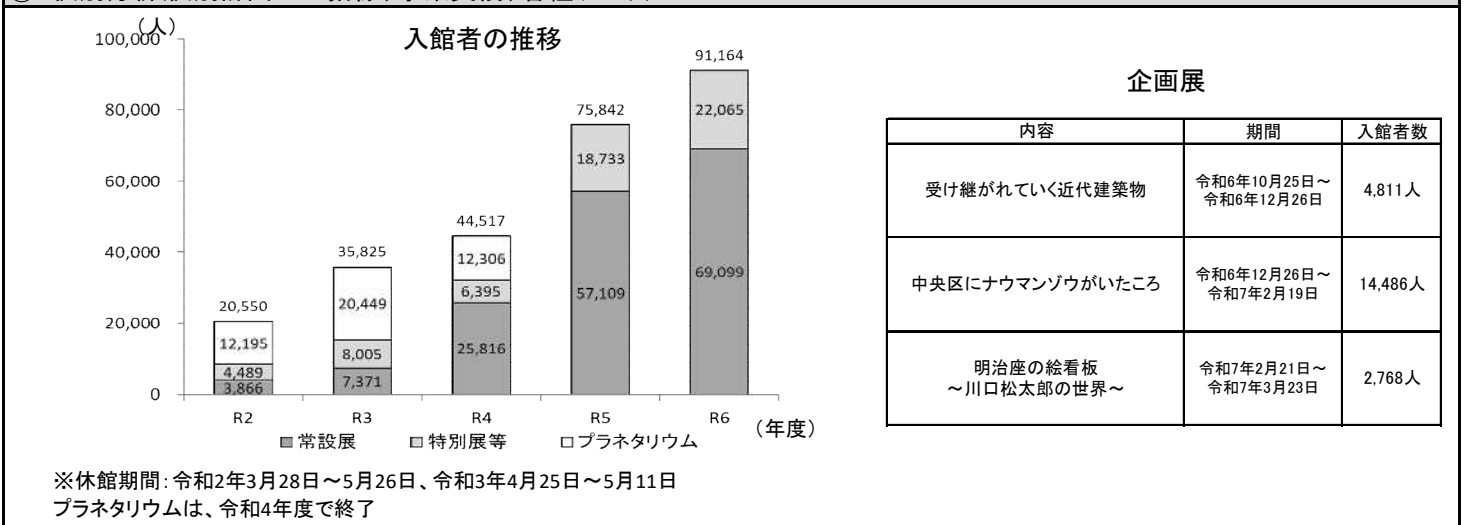
①	郷土資料館の管理運営	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・「本の森ちゅうおう」内の京橋図書館の集客力をいかしつつ、デジタルコンテンツを中心とした常設展示や企画展示室での企画展3回を実施し、入館者数が増加した。 ・京橋図書館でも郷土資料館展示に合わせた特集展示を行うなど、図書館事業との相互連携を図ることで、図書館利用者に対して、区の歴史や文化、文化財保護思想に関する関心を喚起することができた。 ・令和5年度に引き続き開催した企画展「本の森美術館名画展」では、区内有数の劇場である明治座の協力・連携のもと、所蔵絵画を借用するとともに図書館の関連図書を会場に配架した展示を実施した。
	課題	・本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信していくことが必要である。 ・郷土資料館と図書館との併設という「本の森ちゅうおう」のメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

今後の方向性	・時流をとらえたテーマによる企画展・特別展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財にふれる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブズにより、時間や場所を問わずより多くの文化財にふれる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図る。 ・「本の森ちゅうおう」内に整備された郷土資料館は、企画展・特別展の展示会を通じ、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料や地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図る。また、資料をデジタル化し、ICTを活用するなど、来館する多くの方々が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討をする。
--------	--

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【150】文化財保護事業			部課名	教育委員会事務局図書文化財課
事業目的	・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承を図る。 ・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。				
事業内容	・中央区の文化財の保護を行う。				
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020				
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの関連	
	施策	9-2	豊かな心を育む文化活動の振興		

2 財務情報

(単位: 円)

勘定科目				令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目				令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
① 行政コスト計算書	行政費用	人件費		11,518,934	19,529,425	8,010,491	行政収入	地方区税		0	0	0	
		物件費		3,957,500	4,571,849	614,349		特別区財政調整交付金		0	0	0	
		維持補修費		341,000	550,000	209,000		国庫支出金		0	0	0	
		扶助費		0	0	0		都支出金		0	0	0	
		補助費等		5,577,500	2,989,610	△2,587,890		分担金及び負担金		0	0	0	
		投資的経費		0	0	0		使用料及び手数料		0	0	0	
		減価償却費		0	0	0		その他		143,200	67,400	△75,800	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0		小 計		143,200	67,400	△75,800	
		賞与・退職給与引当金繰入額		1,440,248	2,672,049	1,231,801		行政収支差額		△22,691,982	△30,245,533	△7,553,551	
		その他		0	0	0		金融収支差額		0	0	0	
小 計			22,835,182	30,312,933	7,477,751	通常収支差額			△22,691,982	△30,245,533	△7,553,551		
特別費用			0	0	0	当期収支差額			△22,691,982	△30,245,533	△7,553,551		
特別収入			0	0	0	一般財源充当調整			22,199,398	30,534,760	8,335,362		
特別収支差額			0	0	0	再計(一般財源調整後)			△492,584	289,227	781,811		
(内訳等)	勘定科目	物件費					勘定科目	補助費等					
	決算額の主な内訳	・マイクロフィルム撮影等委託 1,394,800円 ・マイクロフィルム電子化業務委託 528,000円 ・埋蔵文化財収蔵庫内コンテナマップの製作委託 499,840円					決算額の主な内訳	・中央区民文化財保護奨励金 1,380,000円 ・文化財調査協力員謝礼 828,000円 ・郷土資料館作業補助員謝礼 418,410円 ・文化財修理の補助金実績減 △2,029,500円					
	主な増減理由	・マイクロフィルム撮影等委託実績増 503,800円					主な増減理由						
	勘定科目	維持補修費					勘定科目	その他(行政収入)					
	決算額の主な内訳	・文化財説明板の撤去・交換 550,000円					決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 67,400円					
主な増減理由	・文化財説明板の撤去・交換の実績増 209,000円					主な増減理由	・有償刊行物販売実績減 △75,800円						

(単位: 円)

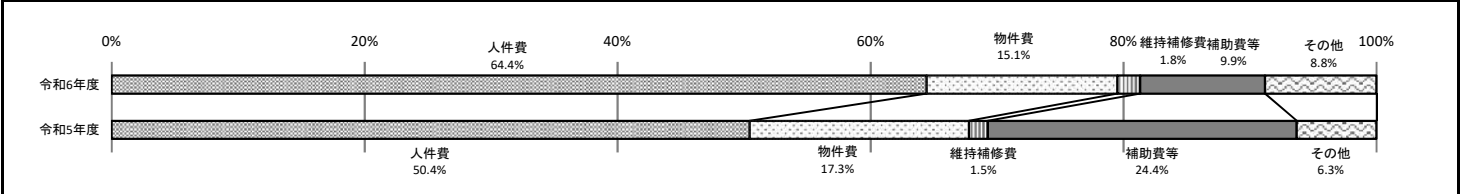
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0	
		その他	0	0		賞与引当金	797,682	1,442,276	644,594	
	固定資産	土地	0	0	0		その他	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	0	0	0		退職給与引当金	7,702,645	12,453,672	4,751,027
		重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	8,500,327	13,895,948	5,395,621
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	△8,500,327	△13,895,948	△5,395,621
		その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0	0
	資産の部 合計		0	0	0					
	勘定科目					勘定科目				
	決算額の主な内訳		—			決算額の主な内訳		—		
	主な増減理由		—			主な増減理由		—		

3 実施内容

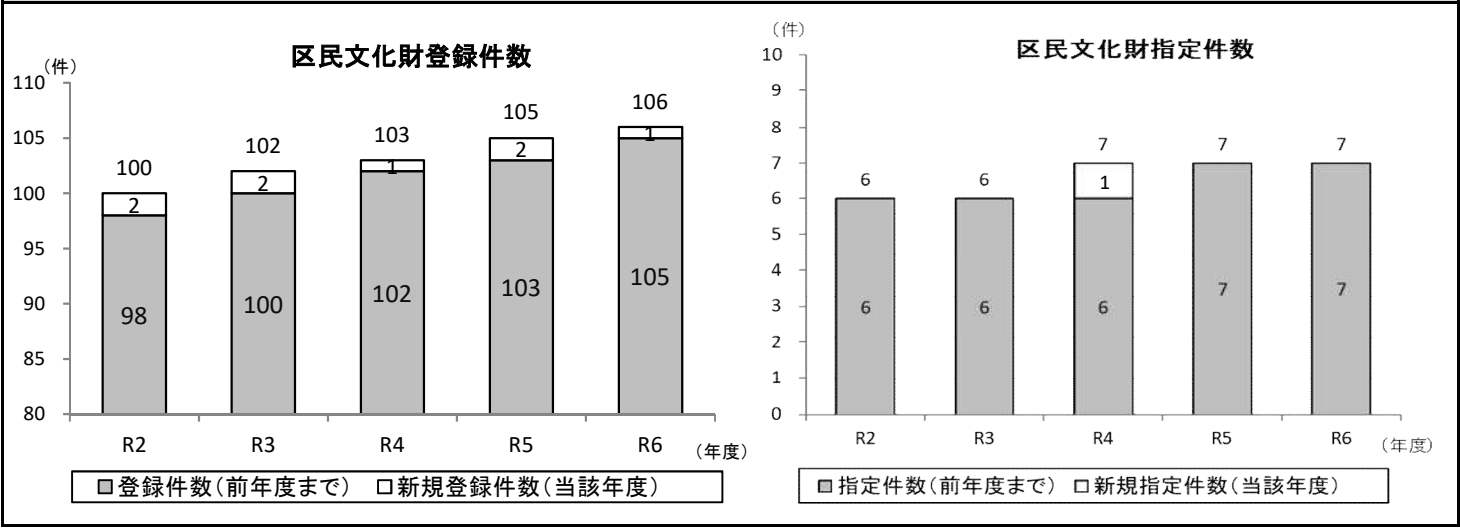
①	文化財の保護	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

① 現状・成果	令和6年度の取組状況	・中央区民文化財を新たに1件登録し、広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。(指定文化財7件、登録文化財106件) ・文化財保護意識の普及・啓発を図るため、老朽化した文化財説明板2件を改修することで、より多くの人へ文化財に対する理解を深めることができた。 ・文化財めぐりについては、令和6年度に2回実施し、地域の文化や歴史に対する啓発ができた。
	課題	・歴史的建造物については、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。歴史的財産の保護に向け、区民の文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。

② 今後の方向性	・有形・無形の文化遺産について文化財調査指導員による調査を進め、重要なものは所有者への働きかけや助言をするなど区民文化財として登録・指定を促し、適切に管理するとともに、常設展示や広報紙、区ホームページ等で幅広く公開していくことで、文化財保護の意識を高める普及・啓発を図る。 ・文化財説明板の設置においては、外国人も含め多くの方にわかりやすいよう、引き続き図版や英語表記を適宜追加する。 ・地域の文化や歴史を普及・啓発していくため、より多くの人々が参加できるような文化財めぐりの実施方法等を検討する。 ・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や、文化財めぐり等の実施により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信し、観光振興等にも寄与できるよう検討する。 ・区民が撮影、記録した区の日常風景等を収集しデジタルによるアーカイブ化を推進するとともに、文化財等を次代へ継承する意義を啓発していく。
----------	--

1 事業概要

事業名	【151】地域間交流の推進事業			部課名	区民部地域振興課			
事業目的	・各都市との交流を通じて、異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげていく。							
事業内容	・友好都市等、さまざまな都市との交流事業を実施している。なかでも友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むことを目的に、「中央区・東根市児童交歓会」を実施している。							
関連する個別計画								
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		SDGsとの 関連			
	施策	9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり			  		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	人件費	7,588,987	6,273,565	△1,315,422	地方区税	0	0	0
行政費用	物件費	2,526,053	2,030,848	△495,205	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	100,000	100,000	0	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	180,000	590,000	410,000
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	180,000	590,000	410,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,028,749	890,682	△138,067	行政収支差額	△11,063,789	△8,705,095	2,358,694
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	11,243,789	9,295,095	△1,948,694	通常収支差額	△11,063,789	△8,705,095	2,358,694
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△11,063,789	△8,705,095	2,358,694
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	10,711,943	8,801,505	△1,910,438
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△351,846	96,410	448,256
	勘定科目	物件費			勘定科目	補助費等		
(内訳等)	決算額の主な内訳	・「児童交歓会」に伴う参加者交通費等 813,337円 ・交流都市への訪問等旅費 284,542円 ・さくらんぼマラソン大会Tシャツ・賞品 242,000円			決算額の主な内訳	・本栖湖神湖祭花火大会後援協賛金 100,000円		
	主な増減理由	・「児童交歓会」東根市訪問に伴う交通費等の増 746,021円 ・「児童交歓会」東根市訪問に伴う体験料等の減 △878,580円 ・「児童交歓会」東根市訪問に伴う昼食代等の減 △414,593円			主な増減理由	・増減なし		
	勘定科目	その他(行政収入)			勘定科目			
(内訳等)	決算額の主な内訳	・児童交歓会参加者負担金 590,000円			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	・児童交歓会東根市訪問に伴う参加者負担金の増 410,000円			主な増減理由	—		

(単位:円)

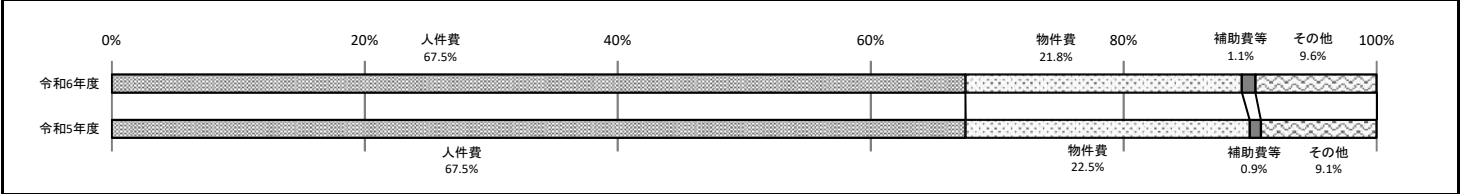
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
(内訳等)		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0
		その他	0	0		賞与引当金	569,773	480,758
	固定資産	土地	0	0		その他	0	0
		建物	0	0	固定負債	特別区債	0	0
		工作物	0	0		退職給与引当金	5,501,890	4,151,224
		重要物品	0	0		その他	0	0
		インフラ資産	0	0		負債の部合計	6,071,663	4,631,982
		建設仮勘定	0	0		正味財産の部合計	△6,071,663	△4,631,982
		その他	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0
	資産の部 合計		0	0				
(内訳等)	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

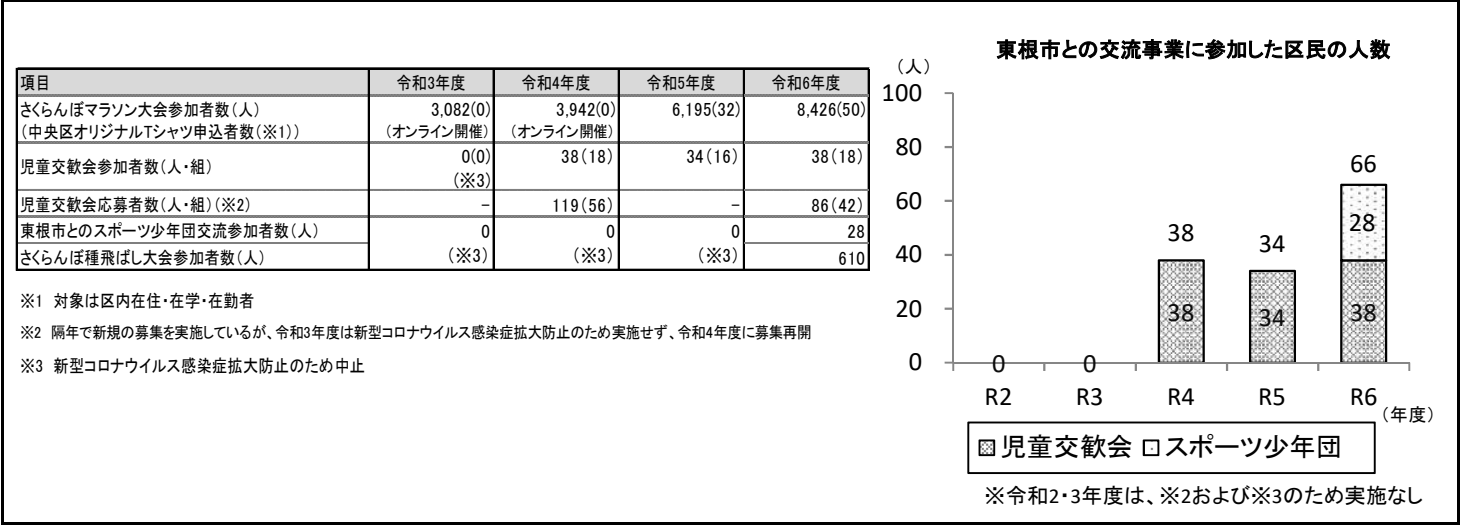
①	都市間交流の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

① 令和6年度の取組状況	現状・成果	・友好都市である東根市とは、例年実施しているさくらんぼ品評会の後援、区内幼稚園に対するさくらんぼ・りんごの配布に加え、晴海地域交流センター「はるみらい」での「さくらんぼ種飛ばし大会」の開催協力、さくらんぼマラソン大会やひがしね祭に参加するなど、イベントを伴う交流事業を通じて、一層関係を深めている。 ・児童交歓会は、交流を通じて、両都市の文化の違いや参加者間の相互理解を深めることができた。本事業実施後も、参加者同士では、手紙やSNSで連絡を取り合うなど、区民・市民間で交流が進んでいる。
	課題	・友好・交流都市との良好な関係の継続・強化を図り、区民・市民間の相互理解を促進していくことが求められている。 ・令和8年度は、東根市との友好都市提携35周年の節目となることから、区民・市民間の相互理解を促進することができる機会である。

② 今後の方向性	・今後も引き続き、友好都市・交流都市との連携を密に取り交流を深め、それぞれの都市・地域の発展・成長を目指すとともに、区民・市民間の交流の輪を広げていく。 ・児童交歓会については、参加者の意見を取り入れながら、参加者の思い出に残るよう内容を企画していく。また、本区の参加者同士の交流を図る事前交流会のほか、本区と東根市の参加者が事業終了後の交流を続けられるように、コミュニケーションを活性化させるための働きかけを引き続き行っていく。 ・中央区・東根市友好都市提携35周年を契機として、東根市との連携・調整を密に取りながら各事業を通じたPRを行うことで、東根市との友好関係をさらに深めていく。
----------	--

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【152】平和推進事業			部課名	区民部地域振興課				
事業目的	・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、日ごろから平和について考えるきっかけとなる場を提供することで、平和意識の普及、啓発を図る。								
事業内容	・中央区平和都市宣言（昭和63年3月15日告示）を記念して開始した「平和の都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業を実施する。								
関連する個別計画									
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			SDGsとの 関連				
	施策	9-3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり							

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用	人件費 9,106,784	9,410,346	303,562	地方区税	0	0	0
		物件費 13,895,409	14,406,425	511,016	特別区財政調整交付金	0	0	0
		維持補修費 0	0	0	国庫支出金	0	0	0
		扶助費 0	0	0	都支出金	0	0	0
		補助費等 242,907	242,859	△48	分担金及び負担金	0	0	0
		投資的経費 0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費 2,027,257	2,027,257	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額 0	0	0	小計	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額 1,234,499	1,336,025	101,526	行政収支差額	△26,506,856	△27,422,912	△916,056
		その他 0	0	0	金融収支差額	0	0	0
	小計	26,506,856	27,422,912	916,056	通常収支差額	△26,506,856	△27,422,912	△916,056
(内訳等)	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△26,506,856	△27,422,912	△916,056
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	24,057,384	25,540,268	1,482,884
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△2,449,472	△1,882,644	566,828
	勘定科目	物件費			勘定科目	補助費等		
	決算額の主な内訳	・平和の都市の楽しい集い実施委託 9,339,000円 ・中央区立小・中学校巡回平和展実施委託 1,888,700円 ・平和展実施委託 1,203,180円			決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアム企画展示室の企画・原稿執筆等に伴う謝礼 225,000円 ・平和の鐘電気料金分担金 17,859円		
	主な増減理由	・中央区立小・中学校巡回平和展実施委託料の増 249,700円 ・平和展実施委託料の増 221,320円			主な増減理由	・平和の鐘電気料金分担金の実績減 △48円		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

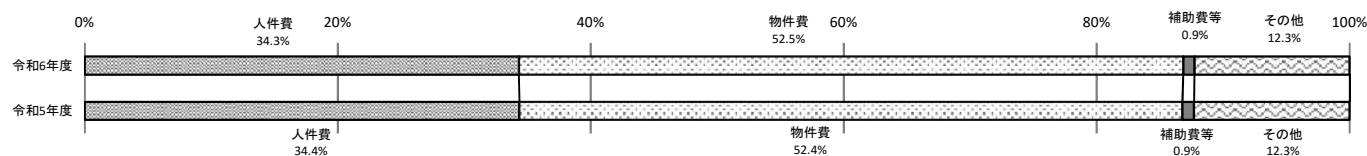
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	流動資産	収入未済 0	0	0	流動負債	還付未済金 0	0	0
		不納欠損引当金 0	0	0		特別区債 0	0	0
		その他 0	0	0		賞与引当金 683,727	721,138	37,411
		土地 0	0	0		その他 0	0	0
		建物 0	0	0	固定負債	特別区債 0	0	0
		工作物 33,407,485	31,380,228	△2,027,257		退職給与引当金 6,602,268	6,226,836	△375,432
		重要物品 0	0	0		その他 0	0	0
		インフラ資産 0	0	0	負債の部合計	7,285,995	6,947,974	△338,021
		建設仮勘定 0	0	0	正味財産の部合計	26,121,490	24,432,254	△1,689,236
		その他 0	0	0	負債・正味財産の部合計	33,407,485	31,380,228	△2,027,257
	資産の部 合計	33,407,485	31,380,228	△2,027,257				
(内訳等)	勘定科目	工作物						
	決算額の主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 17,510,000円 ・平和の鐘 10,788,400円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 2,603,840円			—		—	
	主な増減理由	・蛸殻町公園平和シンボル減価償却による減 △1,030,000円 ・平和の鐘減価償却による減 △770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑減価償却による減 △162,740円			—		—	

3 実施内容

①	平和事業の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

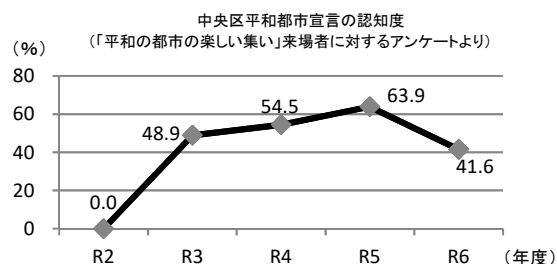
① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)

項目	令和5年度	令和6年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	854	836
平和祈念バーチャルミュージアム総アクセス数(件)(※)	378,063	377,997
平和資料(写真)保存数累計(枚)	356	359
平和資料(物品)保存数累計(点)	311	319

※バーチャルミュージアム内の全ページのアクセス数の合計



※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○各事業のアンケートの意見(抜粋)

【平和の都市の楽しい集い】この様な素晴らしいコンサートを聴けるのも平和あってと出演者のコメントから再認識しました。ありがとうございました。(70歳代)【平和展】知らないことも多くありました。このようなことを多くの人にしてもらうために今後も続けて行ってほしいです。【巡回平和展】戦争はしてはいけないことなんだと改めて思った。(小2)昔の子供や大人がこんなにつらい思いをしていると知ったらとても今が幸せなんだと思いました。(小4)知っている近くの場所が知らない場所になっているようで、今の平和さを実感する事ができた。(中1)

5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を開催するとともに、区立の小・中学校において「巡回平和展」を実施し、社会科の授業で活用してもらうこと等により、平和について考える契機づくりに寄与している。 ・「平和の都市の楽しい集い」を実施することや、平和祈念バーチャルミュージアムにおいて新しい企画展示を追加し内容を充実させることで、平和意識の普及・啓発を図ることができた。 ・令和6年度は「平和の都市の楽しい集い」が土曜日開催となったため、開催時間を例年より早めることや、ファミリー向けの出演者とするにより、これまで参加者の少なかった30歳代、40歳代の参加が多数あった。
	課題	・戦争体験者の減少等により、悲惨な記憶を後世に伝えることがますます難しくなっている。 ・令和7年度は、戦後80年の節目となることから、区民への平和意識の普及・啓発をより強化することができる機会である。 ・「平和の都市の楽しい集い」のアンケートの結果から、30歳代、40歳代の中央区平和都市宣言の認知度が低いことが判明したため、イベントや事業の機会を捉え、認知度が低い年齢層にも周知を図っていく必要がある。

今後の方向性	②	・今後も平和に関する資料の収集・保存を進め、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を継続的に展開していく。 ・令和7年度は、戦後80年の節目となることから、「平和展」の開催時期を例年の3月から「終戦の日」がある8月へと変更するとともに、「本の森ちゅうおう」にて戦後80年平和祈念展示を行うことで、さらなる平和意識の普及・啓発へとつなげていく。 ・「平和の都市の楽しい集い」の出演者や内容を精査し、より幅広い年齢層の区民が参加でき、平和について考える契機となるものとしていく。

令和7年度(令和6年度分) 事業別行政評価シート

LPJ01 LPJ02 LPJ03 LPJ04

1 事業概要

事業名	【153】国際交流の推進事業			部課名	区民部文化・生涯学習課			
事業目的	・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して、国際都市にふさわしい文化を育む。また、多様化・高度化する外国人区民のニーズや使用言語等の状況を踏まえ、外国人区民がいつでも必要な情報を入手できる、暮らしやすい環境づくりを推進する。							
事業内容	・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事の一つとして代表団による訪問と受入れを行う。 ・外国人区民に向けた通訳・翻訳窓口を開設する。 ・タブレット端末による外国語通訳サービスを実施する。 ・生活便利帳「生活ガイドブック」を3年ごとに改訂し、発行する。							
関連する個別計画								
基本計画	基本政策	9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち	SDGsとの 関連				
	施策	9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり					

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
	行政費用	人件費 6,301,052	4,877,047	△1,424,005	地方区税	0	0	0
(内訳等)	行政費用	物件費 2,566,260	6,387,091	3,820,831	特別区財政調整交付金	0	0	0
		維持補修費 0	0	0	国庫支出金	0	0	0
		扶助費 0	0	0	都支出金	100,000	0	△100,000
		補助費等 100,000	0	△100,000	分担金及び負担金	0	0	0
		投資的経費 0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費 0	0	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額 0	0	0	小計	100,000	0	△100,000
		賞与・退職給与引当金繰入額 823,000	668,012	△154,988	行政収支差額	△9,690,312	△11,932,150	△2,241,838
		その他 0	0	0	金融収支差額	0	0	0
		小計 9,790,312	11,932,150	2,141,838	通常収支差額	△9,690,312	△11,932,150	△2,241,838
(内訳等)	行政費用	特別費用 0	0	0	当期収支差額	△9,690,312	△11,932,150	△2,241,838
		特別収入 0	0	0	一般財源充当調整	9,408,835	12,004,457	2,595,622
		特別収支差額 0	0	0	再計(一般財源調整後)	△281,477	72,307	353,784
		勘定科目	物件費		勘定科目	補助費等		
		決算額の主な内訳	・外国人向け生活ガイドブックの改訂 4,598,000円 ・通訳・翻訳に係る人材派遣 1,695,540円		決算額の主な内訳	・実績なし		
		主な増減理由	・外国人向け生活ガイドブック改訂による委託料皆増 4,598,000円 ・外国人向け生活ガイドブック印刷費皆減 △690,250円		主な増減理由	・ウクライナ避難民への生活支援一時金皆減 △100,000円		
		勘定科目	都支出金		勘定科目			
		決算額の主な内訳	・実績なし		決算額の主な内訳	—		
		主な増減理由	・ウクライナ避難民への生活支援一時金支給に伴う東京都物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金皆減 △100,000円		主な増減理由	—		

(単位:円)

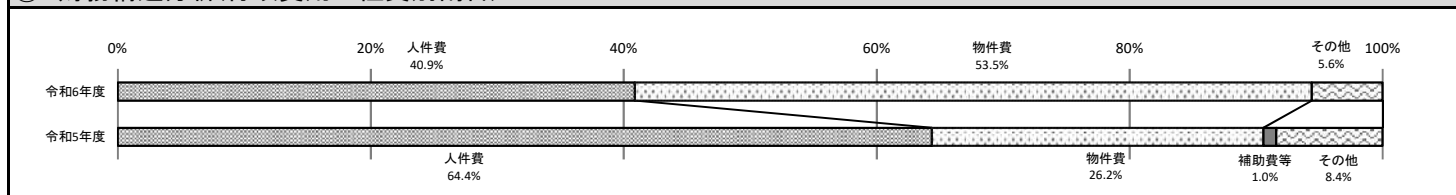
勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目		令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
② 貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0		特別区債	0	0	0
		その他	0	0		賞与引当金	455,818	360,569	△95,249
	固定資産	土地	0	0		その他	0	0	0
		建物	0	0	固定負債	特別区債	0	0	0
		工作物	0	0		退職給与引当金	4,401,512	3,113,418	△1,288,094
		重要物品	0	0		その他	0	0	0
		インフラ資産	0	0		負債の部合計	4,857,330	3,473,987	△1,383,343
		建設仮勘定	0	0		正味財産の部合計	△4,857,330	△3,473,987	1,383,343
		その他	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計		0	0						
勘定科目					勘定科目				
決算額の主な内訳		—			決算額の主な内訳		—		
主な増減理由		—			主な増減理由		—		

3 実施内容

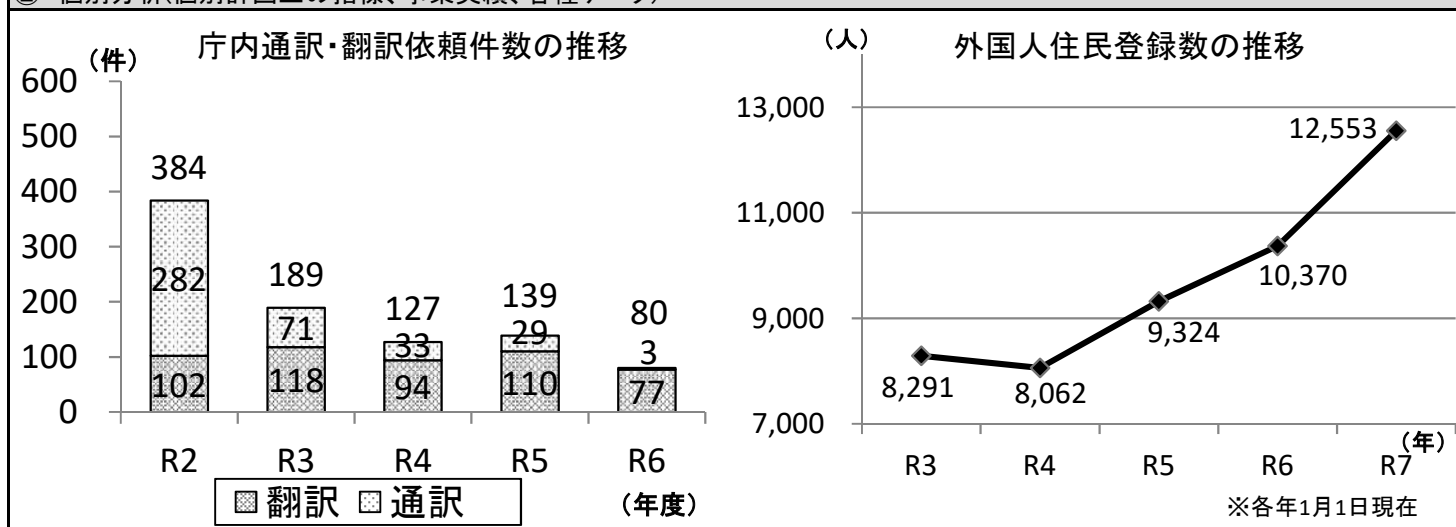
①	国際交流の推進	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

① 現状・成果	・通訳・翻訳窓口を週2回開設し、各所管からの依頼により、通訳担当が各所管と連絡を密に取りながら外国人区民に対する通知文や申請書等の翻訳を適宜行うとともに、必要に応じて外国人からの問い合わせ等に対し、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、案内を適切に行っている。また、タブレット端末を活用したテレビ電話通訳や音声機械通訳による外国語通訳サービスにより、窓口等で多言語対応を行っている。 ・生活ガイドブックを転入時に配布し、本区の行政サービス等の案内を行う際に積極的な活用を促し、外国人が暮らしやすい環境づくりを進めている。令和6年度は改訂年であったため、掲載内容を精査し、現状の行政サービスに合わせて修正を行った。
	・外国語通訳サービスの開始により、通訳・翻訳窓口への通訳依頼件数は減少傾向にあり、窓口の現状を踏まえつつ注視していく必要がある。
② 今後の方向性	・サザランド市との姉妹都市提携の周年行事については、35周年(令和8年)の事業実施に向けてサザランド市と適宜協議していく。 ・通訳・翻訳窓口の運営については、タブレット端末の活用等では対応が難しいケースがあり、通訳者を介しての対応が必要になることから、今後も、通訳については、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら案内を適切に行い、翻訳については、依頼者である職員と通訳担当が連絡を密に取りながら行政サービス等の情報をより正確に翻訳するよう努めていく。 ・タブレット端末については、利用状況等に応じて設置台数を適宜見直す。また、令和7年度から区ホームページや窓口を設置する二次元コードを外国人が持っているスマートフォン等で読み取ることで、通訳コールセンターにつながるサービスを提供するなど利便性の向上を図っていく。 ・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、東京都主催の会議や研修会に参加するなどさまざまな機会を捉えて把握に努めていく。

1 事業概要

事業名	【154】「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業			部課名	区民部文化・生涯学習課			
事業目的	・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちづくりを推進する。							
事業内容	・中央区文化・国際交流振興協会（以下、「協会」という。）に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。							
関連する個別計画								
基本計画	基本政策	9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			SDGsとの 関連			
	施策	9-3 国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり				  		

2 財務情報

(単位:円)

① 行政コスト計算書	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
行政費用	人件費	11,026,842	9,754,094	△1,272,748	地方区税	0	0	0
	物件費	389,276	432,541	43,265	特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	補助費等	109,097,500	113,620,556	4,523,056	分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	519,551	519,551	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,440,248	1,336,025	△104,223	行政収支差額	△122,473,417	△125,662,767	△3,189,350
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0
(内訳等)	小計	122,473,417	125,662,767	3,189,350	通常収支差額	△122,473,417	△125,662,767	△3,189,350
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△122,473,417	△125,662,767	△3,189,350
	特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	121,461,282	125,287,829	3,826,547
	特別収支差額	0	0	0	再計(一般財源調整後)	△1,012,135	△374,938	637,197
	勘定科目	補助費等			勘定科目	物件費		
	決算額の主な内訳	・協会助成金 113,620,556円			決算額の主な内訳	・光熱水費および施設維持管理費 428,157円		
	主な増減理由	・まるごとミュージアムの人件費増等による委託料相当分増 5,126,383円 ・コンサート会場の変更および出演料増等による使用料等相当分の増 1,373,001円 ・古典芸能鑑賞会の25回記念事業終了による委託料等相当分の減 △1,822,358円			主な増減理由	・光熱水費実績増 26,237円 ・施設維持管理費実績増 12,644円		
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

(単位:円)

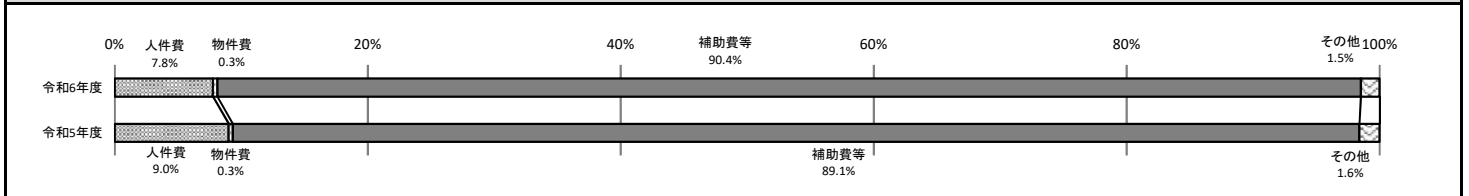
② 貸借対照表	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)	勘定科目	令和5年度(A)	令和6年度(B)	増減(B-A)
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0	賞与引当金	797,682	721,138	△76,544
	土地	0	0	0	その他	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	工作物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	重要物品	0	0	0	退職給与引当金	7,702,645	6,226,836	△1,475,809
	インフラ資産	0	0	0	その他	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計	8,500,327	6,947,974	△1,552,353
	その他	0	0	0	正味財産の部合計	△8,500,327	△6,947,974	1,552,353
(内訳等)	資産の部 合計	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
	勘定科目				勘定科目			
	決算額の主な内訳	—			決算額の主な内訳	—		
	主な増減理由	—			主な増減理由	—		

3 実施内容

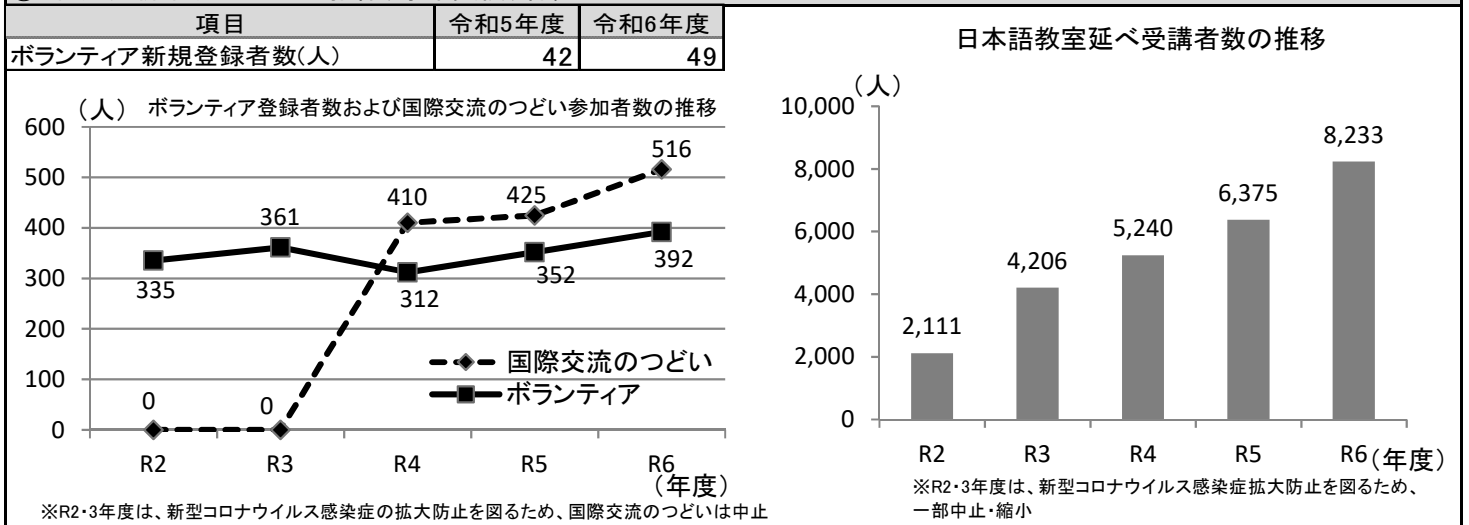
①	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

4 関連データ

① 財務構造分析(行政費用の性質別割合)



② 個別分析(個別計画上の指標、事業実績、各種データ)



5 総括

令和6年度の取組状況	現状・成果	・文化振興事業は、古典芸能鑑賞会、文化講座等を開催することにより、区民が文化に触れる機会を提供し、伝統文化や各種文化に係る歴史等に対する理解を深めてもらうとともに、文化事業を行う10団体へ経費の一部を助成し、区民主体で行われる文化活動に対し支援することができた。 ・国際交流振興事業は、「国際交流のつどい」、「国際交流サロン」(全11回)を開催し、日本の文化を体験できるイベント等を通じて日本人と外国人が交流を楽しめる場を提供し、異文化理解・相互理解を図った。両事業とも参加者数は増加している。 ・日本語教室は、11教室(協会主催3教室、ボランティア主催8教室)開催し、外国人に対し日本語を学ぶ機会を提供した。また、日本語指導者養成講座の開催によりボランティア指導者を養成するとともに、各教室の日本語指導者に対し日本語ステップアップ講座を開催し、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図った。 ・協会登録のボランティアは、新規登録者数は微増であったがボランティア種別ごとの登録者数は増加しており、国際交流サロン等の日本人と外国人との交流を行う場や保健センターで実施している乳幼児健診での通訳を行っている。また、協会登録のボランティアに対して研修会を実施し、ボランティア活動支援を行った。
	課題	・日本語教室は申込者が増加しており、引き続き、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図るとともに、より多くの外国人が日本語を学べるよう日本語指導者を養成し、日本語教室を開催する必要がある。 ・協会登録のボランティアは、引き続き、国際交流サロンや保健センターで実施している乳幼児健診等での通訳のほかに活動場所の拡大や、一人一人のスキルアップ等への活動支援を強化していく必要がある。

今後の方向性	②	・区民が文化に触れる機会をより多く持ってもらうため、各種文化事業の一層の充実を図るとともに継続的な活動への支援を行っていく。 ・国際交流振興事業は、異文化理解・相互理解を図るため、外国人区民等を対象とする「国際交流のつどい」や「国際交流サロン」等の各種国際交流事業に対し支援していく。 ・協会およびボランティア団体が実施する「日本語教室」について、日本語指導者の指導力・技法のスキルアップを引き続き行うとともに、日本語指導者養成講座を受講したボランティアに日本語教室の開催を促すなど、さらなる拡充を図る。 ・協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が多様な分野で活躍できるよう、引き続き支援を行っていく。

